

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>与えられた文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。</p>	<p>【設問数】17問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。</p> <p>言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取り、要旨を把握することができる。</u>	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>文学的な文章について、<u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】12問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式 サンプル問題 1</p>	<p>B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p><u>※漢文は2年1回のみ</u> となります。 【設問数】14問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>※漢文は2年1回のみ となります。 【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p><u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 2年2回-3年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>与えられた文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。</p>	<p>【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。</p> <p>言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取り、要旨を把握することができる。</u>	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>文学的な文章について、<u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】12問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】14問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】記述式</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 読むこと 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 [思考力, 判断力, 表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p><u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】記述式</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科：数学

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(1) <u>指数法則を用いて、単項式の式の積の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1(1)	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
■知識理解(2) <u>因数分解の公式を用いて、簡単な式の因数分解</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1(2)		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 数の実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(3) <u>根号を含む式の計算公式を用いて、簡単な根号を含む式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1(3)		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(4) <u>絶対値の性質を用いて、簡単な絶対値を含む式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1(4)		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(5) <u>根号を含む式の計算公式を用いて、分母の有理化</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(6) <u>不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式が解くこと</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(7) <u>不等式の性質を利用して、簡単な連立不等式が解くこと</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。

<p>■知識理解(8) 絶対値を含む簡単な方程式を解くことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■知識理解(9) 集合とその表し方を理解して、簡単な和集合や共通部分を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>
<p>■知識理解(10) 与えられた簡単な命題の真偽を判断できる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。</p>
<p>■知識理解(11) 和の法則を用いて、場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。</p>
<p>■知識理解(12) 積の法則を用いて、場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。</p>

<p>■知識理解(13) 順列の考え方を<u>用いて</u>、<u>簡単な場合の数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>	
<p>■知識理解(14) 円順列の考え方を<u>用いて</u>、<u>場合の数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>	
<p>■知識理解(15) <u>重複順列の考え方を</u>用いて、<u>場合の数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>	
<p>■知識理解(16) <u>組合せの考え方を</u>用いて、<u>簡単な場合の数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>	
<p>■知識利用(1) 因数分解の公式を用いて、<u>二つの文字を含む多項式の因数分解</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>(1) 数と式</p>	<p>数学I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■知識利用(2) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用いて、<u>根号を含む多項式の計算</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>			<p>数学I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■知識利用(3) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用い、<u>式の展開の工夫</u>をして根号を含む多項式の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>数学I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>		

<p>■知識利用(4) 与えられた文章から一次不等式を立式し、条件を満たす値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>
<p>■知識利用(5) 絶対値を含む不等式を解き、条件を満たす値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>
<p>■知識利用(6) 与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。</p>
<p>■知識利用(7) 積の法則を用いて、条件を満たす整数をつくる場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

<p>■知識利用(8) <u>順列の考え方を</u>用いて、条件を満たす男女の並び方を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学A</p> <p>(2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>
<p>■知識利用(9) <u>組合せの考え方を</u>用いて、6人を3つの組に分ける場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(10) <u>同じものを含む順列の考え方を</u>用いて、アルファベットの並び方を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■応用力〔1〕(1) <u>文字定数を含む等式に与えられた値を代入し、根号を含む式として計算</u>できる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学I</p> <p>(1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>

<p>■応用力〔1〕(2) 与えられた定数をもとに<u>連立一次不等式を解き、求める値の範囲を適切に表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>の 数 と 確 率 場 合 (2)</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 エ 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 エ 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>
<p>■応用力〔1〕(3) 与えられた定数の<u>値の範囲をもとに一次不等式を解き、求める値の範囲を適切に表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 エ 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 エ 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>
<p>■応用力〔1〕(4) 場合分けを行いながら連立一次不等式を解き、<u>条件を満たす x の値が得られるときの定数の範囲を数直線等を用いて考察し、求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>
<p>■応用力〔2〕(1)(2) <u>条件に合わせて取り出す球を特定し、順列・組合せの考え方を用いて場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>		

<p>■応用力〔2〕(3) 条件を満たす場合を考え、<u>順列・組合せの考え方を</u>用いて<u>場合の数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>
<p>■応用力〔2〕(4) 条件を満たすときを場合に<u>分けて考察し、順列・組合せの考え方を</u>用いて<u>場合の数を</u>もれなく求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■数学的表現 数学的事象において、<u>与えられた状況を読み取り、条件にあてはまる2次方程式の解を</u>求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式 サンプル問題 2問 1</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、<u>解法の方針を立て、式の展開やなどを利用して、無理数を3乗した値を</u>求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2問 2問 3</p>		

		<p>こと。</p> <p>(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■数学的表現</p> <p>問題文で与えられた会話をもとに、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 記述式</p> <p>サンプル問題 2 問 4</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p> <p>[課題学習]</p> <p>(1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。</p>

<p>■数学的表現</p> <p>前設問までの思考のプロセスを理解し、異なる条件の場合にも適用させることができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題2問5</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
---	--	-----------------------	--

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 2年2回-3年1回 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(1) <u>根号を含む式の計算公式を用いて、分母の有理化ができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(2) <u>不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。
■知識理解(3) <u>与えられた簡単な命題の真偽を判断できる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(4) <u>二次関数のグラフが x 軸方向, y 軸方向にどのように移動したかを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識理解(5) 平方完成を利用して、 <u>二次関数の最大値と最小値を求め</u> ることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
■知識理解(6) 因数分解を利用して <u>二次不等式の解を求め</u> ることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。
■知識理解(7) 正弦定理を利用して、 <u>三角形の辺の長さを求め</u> ることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
■知識理解(8) 余弦定理を利用して、 <u>三角形の辺の長さを求め</u> ることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識理解(9) <u>三角比を利用して三角形の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅰ (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p>
<p>■知識理解(10) <u>分散を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(4) データの分析	<p>数学Ⅰ (4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。</p>
<p>■知識理解(11) <u>ヒストグラムや箱ひげ図の表し方を理解できている。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>(4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。</p>
<p>■知識理解(12) <u>順列について理解し、簡単な場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(2) 場合の数と確率	<p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>
<p>■知識理解(13) <u>組合せについて理解し、簡単な場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識理解(14) 簡単な事象の確率を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。</p>
<p>■知識理解(15) 角の二等分線と比の定理を利用して線分の長さを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(1) 図形の性質	<p>数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 三角形に関する基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識理解(16) 円の接線と弦の作る角の定理を利用して角の大きさを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 円に関する基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識利用(1) 有理化や展開の公式を利用して、根号を含む多項式の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(1) 数と式	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 イ 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識利用(2)</p> <p><u>与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>
<p>■知識利用(3)</p> <p><u>文字定数を含む二次関数について、グラフの頂点の条件から関数を決定することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	(3) 二次関数	<p>数学 I</p> <p>(3) 二次関数</p> <p>二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識利用(4)</p> <p><u>商品の値上げ額を変化させたときの利益の最大値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I</p> <p>(3) 二次関数</p> <p>二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(4) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>
<p>■知識利用(5)</p> <p><u>正弦定理を利用して、船の位置を求める式を立てることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	(2) 図形と計量	<p>数学 I</p> <p>(2) 図形と計量</p> <p>図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(4) 図形の構成要素間関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識利用(6) 余弦定理と三角形の性質を利用して辺の長さを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p>
<p>■知識利用(7) 順列の考え方を利用して、やや複雑な並び方の総数を求めることができる</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(2) 場合の数と確率	<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。</p>
<p>■知識利用(8) 和事象と積事象の違いを理解し、事象の確率をもれなく求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。</p>
<p>■知識利用(9) 接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(1) 図形の性質	<p>数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識利用(10) 方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■応用力〔1〕(1) 文字定数を含む二次関数について平方完成を行い、グラフの頂点を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学Ⅰ (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■応用力〔1〕(2) 二次関数のグラフが x 軸と共有点をもつ条件を、文字を用いて立式し、解くことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅰ (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。</p>
<p>■応用力〔1〕(3) 二次関数の定義域内での最大値と最小値の条件から文字定数の値を決定することができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅰ (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p>
<p>■応用力〔2〕(1) 余弦定理や三角形の面積の公式を利用して、辺の長さや三角形の面積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学Ⅰ (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■応用力〔2〕(2) <u>正弦定理や三角形の面積を利用して、辺の長さや2つの三角形の面積比を求めることができる。</u>	【設問数】 2問 【出題形式】 選択式		イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。
■知識理解(1) <u>二次方程式の解と係数の関係が理解</u> できている。	【設問数】 1問 【出題形式】 選択式	(1) いろいろな式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解すること。
■知識理解(2) <u>剰余の定理について理解</u> できている。	【設問数】 1問 【出題形式】 選択式		数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。
■知識理解(3) <u>点と直線の距離の求め方を理解</u> することができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識理解(4) 不等式の表す領域について理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>
<p>■知識理解(5) 三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(4) 三角関数	<p>数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。</p>
<p>■知識理解(6) 三角関数を合成することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識理解(7) 指数関数の表すグラフについて理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(3) 指数関数・対数関数	<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p>
<p>■知識理解(8) 簡単な対数の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識理解(9) 導関数と極値について理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(5) 微分・積分の考え</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。</p>
<p>■知識理解(10) 関数と不定積分について理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。</p>
<p>■知識理解(11) 等差数列の和を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数列</p>	<p>数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。</p>
<p>■知識理解(12) 等比数列の定義を理解することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識理解(13) いろいろな数列の和を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(14) <u>ベクトルの内積の値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) ベクトル	数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。
■知識理解(15) <u>二つの垂直なベクトルと内積の関係が理解できている。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。
■知識理解(16) <u>内分点の位置ベクトルの表し方が理解できている。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 II (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。
■知識利用(1) <u>因数定理を利用して、三次方程式の解を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と方程式	数学 II (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。
■知識利用(2) <u>与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識利用(3) <u>三角関数のとり得る値の範囲を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択</p>	<p>(4) 三角関数</p>	<p>数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識利用(4) <u>指数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 指数関数・対数関数</p>	<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識利用(5) <u>対数を利用して、星の明るさについての関係式を立てることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>指数関数・対数関数</p>	<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>
<p>■知識利用(6) <u>2つの放物線で囲まれる図形の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(5) 微分・積分の考え</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識利用(7) 公差が負である等差数列において和の最大を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数列</p>	<p>数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。</p>
<p>■知識利用(8) 数列の和の式から数列の一般項を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(9) ベクトルの内積の条件などをもとにベクトルの大きさを求める計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) ベクトル</p>	<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。</p>
<p>■知識利用(10) 内分点の位置ベクトルの公式を利用してやや複雑なベクトルを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■応用力〔1〕(1) 平方完成を行い、円の中心の座標と半径を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。</p>
<p>■応用力〔1〕(2) 三角形の重心の軌跡を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。</p>
<p>■応用力〔1〕(3) 円上を動く点を含む三角形の面積の最大値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。</p>
<p>■応用力〔2〕 与えられた2次関数のグラフの接線の方程式を求め、接線や放物線で囲まれた図形の面積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】4問 【出題形式】選択式</p>	<p>(5) 微分・積分の考え</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■ 数学的表現</p> <p>実数解をもつような文字定数の範囲を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) (1)</p> <p>数と式</p> <p>いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ</p> <p>(1) いろいろな式</p> <p>いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(エ) 二次方程式の解の種類の種類及び解と係数の関係について理解すること。</p>
<p>■ 数学的表現</p> <p>解と係数の関係を利用することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 選択式</p>		<p>数学Ⅱ</p> <p>(1) いろいろな式</p> <p>いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。</p> <p>〔課題学習〕</p>
<p>■ 数学的表現</p> <p>解の個数に関する条件をみたすときの文字定数の値の範囲を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 短答式</p>		<p>数学Ⅰ</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p>
<p>■ 数学的表現</p> <p>命題の真偽を判断することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 選択式</p>		<p>数学Ⅰ</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p>
<p>■ 数学的表現</p> <p>他者の考えの方針を理解して、解答を記述することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 記述式</p>		<p>数学Ⅱ</p> <p>(1) いろいろな式</p> <p>いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。</p> <p>〔課題学習〕</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			(1)から(5)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 2年2回-3年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し， <u>英語語彙を正しく使用することができる。</u>	【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6問程度 英語コミュニケーションⅡ 4問程度 【CEFR】A1～A2程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
			英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，必要に応じて，別の語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら，新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握する活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルで英文内容を理解し, <u>文法を正しく使用</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】12 問(程度) 【出題形式】 選択式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 7 問程度 英語コミュニケーションⅡ 5 問程度</p> <p>【CEFR】 A1～A2 程度</p>		<p>握する活動。また, 読み取った内容を基に考えをまとめ, 話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>① カ 書くこと</p> <p>(7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について, 必要に応じて, 使用する語句や文, 文章例が示されたり, 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルの英文を, <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 (整序) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 2 問程度 英語コミュニケーション II 1 問程度 【CEFR】 A1~A2 程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について, 基本的な語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら, 電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り, 書き手の意図を把握する活動。また, 読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について, 使用する語句や文, 文章例が十分に示されたり, 準備のための多くの時間が確保されたりする状況で, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>英語コミュニケーション II 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について, 必要に応じて, 別の語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら, 新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また, 読み取った内容を基に考えをまとめ, 話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について, 必要に応じて, 使用する語句や文, 文章例が示されたり, 準備のための一定の時間が確保さ</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・短めのまとまりのある英文を読んで, 文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。</p>	<p>【設問数】 4 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2 問程度 英語コミュニケーションⅡ 2 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度</p>		<p>れたりする状況で, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・短めのまとまりの説明文や会話文などを読んで, テーマや概要をとらえることができる。</p>	<p>【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 2 問程度 英語コミュニケーション II 1 問程度 【CEFR】 A1~A2 程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について, 基本的な語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら, 電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り, 書き手の意図を把握する活動。また, 読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について, 基本的な語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら, 説明文や論証文などから必要な情報を読み取り, 概要や要点を把握する活動。また, 読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>英語コミュニケーション II 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について, 必要に応じて, 別の語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら, 新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り, 文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また, 読み取った内容を基に考えをまとめ, 話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について, 必要に応じて, 別の語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら, 論証文や報告文などから必要な情報を読み取り, 概要や要点, 詳細を把握する</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・短めのまとまりの説明文, 会話文, 電子メール, パンフレットなどから概要や要点を読み取り, 書き手の意図を把握したり, 必要とする情報を推測したりすることができる。</p>	<p>【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 2 問程度 英語コミュニケーション II 1 問程度 【CEFR】 A1~A2 程度</p>		<p>活動。また, 読み取った内容を基に考えをまとめ, 話したり書いたりして伝え合う活動。</p>
<p>・まとまりのある説明文, 会話文, 電子メール, 物語などから概要や要点に加え, 必要な細部の情報を把握することができる。</p>	<p>【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 2 問程度 英語コミュニケーション II 1 問程度 【CEFR】 A1~A2 程度</p>		<p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について, 基本的な語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら, 電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り, 書き手の意図を把握する活動。また, 読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について, 基本的な語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら, 説明文</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 短い文章の内容を読み取り, 文章の流れや展開を考えて再構築できる。</p>	<p>【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 2 問程度 英語コミュニケーション II 1 問程度</p> <p>【CEFR】 A1～A2 程度</p>		<p>や論証文などから必要な情報を読み取り, 概要や要点を把握する活動。また, 読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>英語コミュニケーション II 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について, 基本的な語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら, 電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り, 書き手の意図を把握する活動。また, 読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について, 基本的な語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら, 説明文や論証文などから必要な情報を読み取り, 概要や要点を把握する活動。また, 読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた図表などの情報を正しく読み取り, 英語で描写することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1~A2 程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>英語コミュニケーション I</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① カ 書くこと</p> <p>(ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について, 使用する語句や文, 文章例が十分に示されたり, 準備のための多くの時間が確保されたりする状況で, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>(イ) 社会的な話題について, 使用する語句や文, 文章例が十分に示されたり, 準備のための多くの時間が確保されたりする状況で, 対話や説明などを聞いたり読んだりして, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた状況・情報を正しく読み取り, <u>自分の意見を簡潔に英語で表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度</p>		<p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について, 必要に応じて, 使用する語句や文, 文章例が示されたり, 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について, 必要に応じて, 使用する語句や文, 文章例が示されたり, 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で, 説明や討論などを聞いたり読んだりして, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・会話や説明文を聞いて, 話の概要や要点を聞き取ることができる。</p>	<p>【設問数】 5問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度</p> <p>【CEFR】 A1～A2程度</p>	<p>聞くこと</p>	<p>英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について, 話される速さが調整されたり, 基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら, 対話や放送などから必要な情報を聞き取り, 話し手の意図を把握する活動。また, 聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について, 話される速さが調整されたり, 基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら, 対話や説明などから必要な情報を聞き取り, 概要や要点を把握する活動。また,</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた状況・情報を正しく聞き取り, 書き手の意図を把握したり, 必要とする情報を推測したりすることができる。</p>	<p>【設問数】 5問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3問程度 英語コミュニケーション II 2問程度</p> <p>【CEFR】 A1~A2 程度</p>		<p>聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>英語コミュニケーション II 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について, 必要に応じて, 話される速さが調整されたり, 別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら, 対話やスピーチなどから必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図を把握する活動。また, 聞き取った内容を基に考えをまとめ, 話したり書いたりして伝え合う活動。 (4) 社会的な話題について, 必要に応じて, 話される速さが調整されたり, 別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら, 説明や討論などから必要な情報を聞き取り, 概要や要点, 詳細を把握する活動。また, 聞き取った内容を基に考えをまとめ, 話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数, 出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・まとまりのある文章を聞いて, 概要や要点に加え, 必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 5問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		
・身近な話題に関する問いに即座に応じて, 「やり取り」することができる	【設問数】 4問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について, 使用する語句や文, やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で, 情報や考え, 気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また, やり取りした内容を整理して発表したり, 文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について, 使用する語句や文, やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で, 対話や説明などを聞いたり読んだりして, 賛成や反対の立場から, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また, やり取りした内容を踏まえて, 自分自身の考えなどを整理して発表したり, 文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表]
・身近な話題に関する英文を, 発音や抑揚に注意して読みあげ, 聞き手に伝わるように「発表」することができる	【設問数】 1問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

<p>・<u>図や表</u>について、聞き手にその内容が伝わるように「<u>発表</u>」することができる</p>	<p>【設問数】 1問 (程度) 【出題形式】 スピーキング</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>(7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>(4) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>英語コミュニケーション II 2 内容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① エ 話すこと [やり取り]</p> <p>(7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p> <p>(4) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p> <p>① オ 話すこと [発表]</p> <p>(7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
---	--	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>図や表に関する問い</u>に即座に 応じて，「やり取り」するこ とができる</p>	<p>【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1 問程度</p> <p>【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>		<p>(イ) 社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，発話例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，説明や討論などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<u>与えられた文章に即して、情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の構成や論理展開を的確に把握</u> することができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
論理的な文章について、 <u>文章の内容を正確に把握することができる。また、筆者の主張やその主張の根拠をとらえること</u> ができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせたりするなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>文学的な文章について、<u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】12問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式 <u>サンプル問題 1</u></p>	<p>B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。</p> <p>エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p>※漢文は2年1回のみとなります。 【設問数】14問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>※漢文は2年1回のみ となります。 【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 2年2回-3年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<u>与えられた文章に即して、情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の構成や論理展開を的確に把握することができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
論理的な文章について、 <u>文章の内容を正確に把握することができる。また、筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせたりするなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>文学的な文章について、<u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】12問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>A 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕 〔知識及び技能〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕</p> <p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。</p> <p>ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>A 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。</p> <p>ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。</p> <p>エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】14問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】記述式</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p>C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 読むこと 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 [思考力, 判断力, 表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p><u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】記述式</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識利用(1) 因数分解の公式を用いて、<u>二つの文字を含む多項式の因数分解</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 1(1)</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 ウ 次のような知識及び因数分解の公式の理解を深めること。 エ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 オ 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■知識利用(2) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用いて、<u>根号を含む多項式の計算</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 1(2)</p>		
<p>■知識利用(3) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用い、<u>式の展開の工夫をして根号を含む多項式の計算</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 1(3)</p>		
<p>■知識利用(4) <u>与えられた文章から一次不等式を立式し、条件を満たす値を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 1(4)</p>		
<p>■知識利用(5) <u>絶対値を含む不等式を解き、条件を満たす値を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
			<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 ウ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 エ 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 オ 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>

<p>■知識利用(6) 与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>
<p>■知識利用(7) 積の法則を用いて、条件を満たす整数をつくることのできる場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。</p>
<p>■知識利用(8) 順列の考え方を用いて、条件を満たす男女の並び方を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>
<p>■知識利用(9) 組合せの考え方を用いて、6人を3つの組に分ける場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

<p>■知識利用(10)</p> <p><u>同じものを含む順列の考え方を</u>用いて,<u>アルファベットの並べ方を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		
<p>■応用力〔1〕(1)</p> <p><u>文字定数を含む等式に与えられた値を代入し,根号を含む式として計算</u>できる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に, 既に学習した計算の方法と関連付けて, 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■応用力〔1〕(2)</p> <p>与えられた定数をもとに<u>連立一次不等式を解き, 求める値の範囲を適切に表現</u>することができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>

<p>■応用力〔1〕(3) 与えられた<u>定数の値の範囲</u>をもとに<u>一次不等式を解き、求める値の範囲を適切に表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>
<p>■応用力〔1〕(4) 場合分けを行いながら連立一次不等式を解き、<u>条件を満たす x の値が得られるときの定数の範囲を数直線等を用いて考察し、求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>
<p>■応用力〔2〕(1)(2) <u>条件に合わせて取り出す球を特定し、順列・組合せの考え方を用いて場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>
<p>■応用力〔2〕(3) <u>条件を満たす場合を考え、順列・組合せの考え方を用いて場合の数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

<p>■応用力〔2〕(4) <u>条件を満たすときを場合に 分けて考察し，順列・組合せ の考え方を</u>用いて<u>場合の数 をもれなく求める</u>ことが できる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>				
<p>■総合力(1) 二つの動点の動きを把握し， <u>特定の時間において動点か らつくられる図形の面積を 求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	$\begin{pmatrix} 3 \\ 1 \end{pmatrix}$ <p>二 次 関 数 と 式</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (イ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用すること。</p> <p>(3) 二次関数 二次関数について，数学的活動を通して，その有用性を認識するとともに，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p>		
<p>■総合力(2) 与えられた時間の範囲にお いて，<u>二つの動点からつくら れる図形の面積と時間の関 係を，一次関数や二次関数の 式で表す</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】3問 【出題形式】選択式</p>				
<p>■総合力(3) 与えられた複数の条件が，動 点のつくる図形の条件を満 たしているかどうかをもれ なく検討する。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>				
<p>■総合力(4) <u>導いた関数をもとに与えら れた条件を満たす時間を求 める。</u>さらに，連立一次不 等式を満たす数を求めるこ とができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>				

<p>■数学的表現 <u>数学的事象において、与えられた状況を読み取り、条件にあてはまる 2 次方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1 問 【出題形式】短答式 <u>サンプル問題 2 問 1</u></p>	(1) 数と式	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、解法の方針を立て、<u>式の展開やなどを利用して、無理数を 3 乗した値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2 問 【出題形式】選択式 <u>サンプル問題 2 問 2 問 3</u></p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する</u></p>	<p>【設問数】1 問 【出題形式】記述式 <u>サンプル問題 2 問 4</u></p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p>

<p>ことができる。</p>		<p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p> <p>〔課題学習〕</p> <p>(1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたたり発展させたりするなどした課題を設け，生徒の主体的な学習を促し，数学のよさを認識させ，学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。</p>
<p>■数学的表現 前設問までの思考のプロセスを理解し，異なる条件の場合にも適用させることができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2 問 5</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 2年2回 - 3年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識利用(1)</p> <p>有理化や展開の公式を利用して、<u>根号を含む多項式の計算</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■知識利用(2)</p> <p><u>与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断</u>することができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>
<p>■知識利用(3)</p> <p><u>文字定数を含む二次関数について、グラフの頂点の条件から関数を決定</u>することができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(3)</p> <p>二次関数</p>	<p>数学 I</p> <p>(3) 二次関数</p> <p>二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識利用(4)</p> <p><u>商品の値上げ額を変化させたときの利益の最大値を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I</p> <p>(3) 二次関数</p> <p>二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>

<p>■知識利用(5) <u>正弦定理を利用して、船の位置を求める式を立てることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (4) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>
<p>■知識利用(6) <u>余弦定理と三角形の性質を利用して辺の長さを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p>
<p>■知識利用(7) <u>順列の考え方を利用して、やや複雑な並び方の総数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。</p>
<p>■知識利用(8) <u>和事象と積事象の違いを理解し、事象の確率をもれなく求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (4) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。</p>
<p>■知識利用(9) <u>接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>形 の性質 (1) 図</p>	<p>数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>

<p>■知識利用(10) <u>方べきの定理を利用して、線分の長さを求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識利用(1) <u>因数定理を利用して、三次方程式の解を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>な 式 (1) い ろ い ろ</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。</p>
<p>■知識利用(2) <u>与えられた条件を満たす点の軌跡を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>程 式 (2) 図 形 と 方</p>	<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。</p>
<p>■知識利用(3) <u>三角関数のとり得る値の範囲を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>数 (4) 三 角 関</p>	<p>数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識利用(4) <u>指数関数を含む方程式の解を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>数 ・ 対 数 関 数 (3) 指 数 関</p>	<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>■知識利用(5) 対数を利用して、星の明るさについての関係式を立てることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ウ 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>
<p>■知識利用(6) 二つの放物線で囲まれる図形の面積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>分の考え (5) 微分・積分</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ウ 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。</p>
<p>■知識利用(7) 公差が負である等差数列において和の最大を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数列</p>	<p>数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ウ 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。</p>
<p>■知識利用(8) 数列の和の式から数列の一般項を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ウ 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。</p>
<p>■知識利用(9) ベクトルの内積の条件などをもとにベクトルの大きさを求める計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) ベクトル</p>	<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ウ 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。</p>

<p>■知識利用(10) 内分点の位置ベクトルの公式を利用してやや複雑なベクトルを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。</p>
<p>■応用力 [1] (1) 余弦定理や三角形の面積の公式を利用して、辺の長さや三角形の面積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p>
<p>■応用力 [1] (2) 正弦定理や三角形の面積を利用して、辺の長さや2つの三角形の面積比を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>		<p>(2) 場合の数と確率</p> <p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。</p>
<p>■応用力 [2] (1) カードを用いる組合せの確率を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p> <p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。</p>	
<p>■応用力 [2] (2) カードを用いる組合せの確率を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■応用力 [2] (3) 与えられた条件を満たす組合せの確率を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問 【出題形式】選択式</p>		<p>(2) 場合の数と確率</p> <p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。</p>

<p>■応用力 [1]</p> <p>与えられた <u>2 次関数のグラフの接線の方程式を求め、接線や放物線で囲まれた図形の面積を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】4 問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>分の 考 え (5) 微 分 ・ 積</p>	<p>数学Ⅱ</p> <p>(5) 微分・積分の考え</p> <p>微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(7) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。</p>
<p>■応用力 [2] (1)</p> <p>与えられた条件から<u>等比数列の一般項や等差数列の公差</u>求めることができる。</p>	<p>【設問数】2 問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数 列</p>	<p>数学 B</p> <p>(1) 数列</p> <p>数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(7) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。</p>
<p>■応用力 [2] (2)</p> <p><u>等差数列や等比数列を組み合わせてできる新たな数列の和</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2 問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		<p>数学 B</p> <p>(1) 数列</p> <p>数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(7) 事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。</p>

<p>■総合力</p> <p><u>2 倍角の公式を利用して三角関数を 2 次関数に変形し、最大値や最小値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 3 問</p> <p>【出題形式】 選択式</p>	<p>(3) (2) (4)</p> <p>二次関数 図形と方程式 三角関数</p>	<p>数学 I</p> <p>(3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。</p> <p>数学 II</p> <p>(2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。</p> <p>数学 II</p> <p>(4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること。</p>
<p>■総合力(1)</p> <p><u>三角関数と x 軸に平行な直線の共有点の個数や、それらの和を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 4 問</p> <p>【出題形式】 選択式</p>		
<p>■総合力(2)</p> <p><u>三角関数と傾きのある直線の共有点の個数を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 選択式</p>		

<p>■総合力(1)</p> <p>与えられた円の方程式の中心の座標と半径と求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	<p>(2)(1)(3)</p> <p>図形と方程式 二次関数 いろいろな式</p>	<p>数学Ⅰ</p> <p>(3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。</p> <p>数学Ⅱ</p> <p>(1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。</p> <p>数学Ⅱ</p> <p>(2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。</p>
<p>■総合力(2)</p> <p>円の半径を、aの二次関数として捉え、半径の最小値とそのときのaの値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		
<p>■総合力(3)</p> <p>求めたaを含む円の方程式をaについて整理し、この円がtねに通る点を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		
<p>■総合力(4)(5)</p> <p>円の通過する領域を図示し、与えられた点を通るかを調べることができる。またその領域の面積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		
<p>■総合力(6)</p> <p>領域内を動く点とその他2点で表される線分の大きさの最小値と最大値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】2問</p> <p>【出題形式】選択式</p>		

<p>■数学的表現 実数解をもつような文字定数の<u>範囲を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式</p>	<p>(1) いろいろな式 (1) 数と式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>
<p>■数学的表現 解と係数の関係を利用することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■数学的表現 解の個数に関する条件をみたすときの文字定数の<u>値の範囲を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式</p>		
<p>■数学的表現 命題の真偽を判断することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p>

<p>■数学的表現 <u>他者の考えの方針を理解して、解答を記述することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。 〔課題学習〕 (1) から (5) までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。</p>
---	--	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート βタイプ 2年2回-3年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6問程度 英語コミュニケーションⅡ 4問程度 【CEFR】A1～A2程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
			英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルで英文内容を理解し、<u>文法を正しく使用</u>することができる。</p>	<p>【設問数】12問(程度) 【出題形式】 選択式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 7問程度 英語コミュニケーションⅡ 5問程度</p> <p>【CEFR】 A1～A2程度</p>		<p>記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>① カ 書くこと</p> <p>(ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

<p>・文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保さ</p>
---	--	------------------	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短めのまとまりのある英文を読んで、文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度		れたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・短めのまとまりの説明文や会話文などを読んで、テーマや概要をとらえることができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的话题について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的话题について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、論証文や報告文などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・短めのまとまりの説明文，会話文，電子メール，パンフレットなどから概要や要点を読み取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。</p>	<p>【設問数】3問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】A1～A2程度</p>		<p>活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。</p>
<p>・まとまりのある説明文，会話文，電子メール，物語などから概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。</p>	<p>【設問数】5問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】A1～A2程度</p>		<p>英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短い文章の内容を読み取り、 文章の流れや展開を考えて再構築できる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度		英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた図表などの情報を正しく読み取り、<u>英語で描写</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問程度 【CEFR】 A1~A2程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>英語コミュニケーション I</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① カ 書くこと</p> <p>(ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた状況・情報を正しく読み取り、<u>自分の意見を簡潔に英語で表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】 A1～A2程度</p>		<p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・会話や説明文を聞いて、話の概要や要点を聞き取ることができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>聞くこと</p>	<p>英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>
<p>・与えられた状況・情報を正しく聞き取り、書き手の意図を把握したり、必要とする情報を推測したりすることができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】A1～A2程度</p>		<p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について、必要に応じて、話される速さが調整されたり、別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら、対話やスピーチなどから必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、話される速さが調整されたり、別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら、説明や討論などから必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある文章を聞いて、概要や要点に加え、必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 5問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3問程度 英語コミュニケーション II 2問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ <u>身近な話題に関する問い</u> に即座に応じて、 <u>「やり取り」</u> することができる	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。
・ <u>身近な話題に関する英文</u> を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように <u>「発表」</u> することができる	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問程度 【CEFR】 A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず		① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意
・ <u>図や表</u> について、聞き手にその内容が伝わるように <u>「発表」</u> することができる	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問程度 【CEFR】 A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず		(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>図や表に関する問い</u>に即座に応じて、「やり取り」することができる</p>	<p>【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>		<p>見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>与えられた文章に即して、語彙(類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など)及び言葉のきまり(口語文法など)、情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。</p>	<p>【設問数】12問(程度) 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取り、要旨を把握することができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
論理的な文章について、 <u>筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>文学的な文章について、<u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式 <u>サンプル問題 1</u></p>	<p>B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p>※漢文は2年1回のみとなります。 【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>※漢文は2年1回のみ となります。 【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 2年2回-3年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>与えられた文章に即して、語彙(類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など)及び言葉のきまり(口語文法など)、情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。</p>	<p>【設問数】12問(程度) 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取り、要旨を把握することができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
論理的な文章について、 <u>筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>文学的な文章について、<u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。</p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることが</u>できる。</p>	<p>【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式</p>	<p>A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】記述式</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 読むこと 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 [思考力, 判断力, 表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p><u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】記述式</p>	<p>C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識理解(1)</p> <p>正負の数を理解し、簡単な計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>2A 数と式</p> <p>(1) 正の数と負の数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。</p> <p>(イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。</p>
<p>■知識理解(2)</p> <p>展開の公式を用いて簡単な多項式の展開ができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕</p> <p>2A 数と式</p> <p>(2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。</p> <p>(イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。</p> $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$
<p>■知識理解(3)</p> <p>展開の公式を用いて、簡単な式の因数分解ができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題 1(2)</p>		<p>数と式</p> <p>(1)</p> <p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができる</p>
<p>■知識理解(4)</p> <p>平方根について理解し、値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題 1(3)</p>		

<p>■知識理解(5) 根号を含む式の加法, 減法ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>よう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
<p>■知識理解(6) 根号を含む式の計算公式を用いて, 分母の有理化ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識理解(7) 不等式の性質を利用して, 簡単な一次不等式を解くことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 と。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 一次不等式の解を求めること。</p>
<p>■知識理解(8) 解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (3) 二次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 解の公式を知り, それを用いて二次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。</p>

<p>■知識理解(9) 絶対値の性質を用いて、簡単な絶対値を含む式の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■知識理解(10) 集合とその表し方を理解して、簡単な和集合や共通部分が求められる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>
<p>■知識理解(11) 与えられた簡単な命題の真偽を判断できる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>
<p>■知識理解(1) カードを用いて条件を満たす場合の確率を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>D データの活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。</p>
<p>■知識理解(2) 硬貨を用いて条件を満たす場合の確率を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>D データの活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。</p>

<p>■知識理解(3) さいころを用いて<u>条件を満たす場合の確率を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		(イ) 簡単な場合について確率を求めること。
<p>■知識理解(4) 色のついた玉を用いて<u>条件を満たす場合の確率を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識理解(5) <u>和の法則を用いて、場合の数</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	(2) 場合の数と確率	<p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。</p>
<p>■知識理解(6) <u>積の法則を用いて、場合の数</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識理解(7) <u>順列の考え方と積の法則を用いて、場合の数</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識理解(8) <u>組合せの考え方と積の法則</u>を用いて、場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(1) 展開の公式を用いて、<u>二つの文字を含む多項式の展開</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

<p>■知識利用(2) <u>因数分解の公式を用いて、二つの文字を含む多項式の因数分解</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>るよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■知識利用(3) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用いて、<u>根号を含む多項式の計算</u>ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
<p>■知識利用(4) <u>展開公式を用いて、式の値を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>

<p>■知識利用(5) 与えられた式を連立一次不等式として解を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>
<p>■知識利用(6) 絶対値を含む不等式を解き、条件を満たす値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	
<p>■知識利用(7) 与えられた条件を満たす和集合や補集合に含まれる数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	
<p>■知識利用(8) 与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	
		<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>

<p>■知識利用(1) 積の法則を用いて、条件を満たす整数がつくられる場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>
<p>■知識利用(2) 順列の考え方をを用いて、条件を満たす男女の並び方を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(3) 円順列の考え方をを用いて、条件を満たす男女の並び方を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(4) 組合せの考え方をを用いて、平行線によってつくられる平行四辺形の個数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(5) 組合せの考え方をを用いて、9人を3つの組に分ける場合の数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(6) 同じものを含む順列の考え方をを用いて、アルファベットの並び方を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

<p>■数学的表現</p> <p>数学的事象において、<u>与えられた状況を読み取り、条件にあてはまる 2 次方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1 問</p> <p>【出題形式】短答式</p> <p>サンプル問題 2 問 1</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■数学的表現</p> <p>問題文で与えられた会話をもとに、解法の方針を立て、<u>式の展開やなどを利用して、無理数を 3 乗した値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】2 問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題 2 問 2 問 3</p>	<p>(1)</p> <p>数と式</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>

<p>■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 <u>サンプル問題 2 問 4</u></p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 〔課題学習〕 (1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。</p>
<p>■数学的表現 前設問までの思考のプロセスを理解し、<u>異なる条件の場合にも適用させることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 <u>サンプル問題 2 問 5</u></p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p>

			(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
--	--	--	---

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 2年2回 - 3年1回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>■知識理解(1) 根号を含む絶対値の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
<p>■知識理解(2) 根号を含む式の計算公式を用いて、分母の有理化ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。</p>
<p>■知識理解(3) 不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式が解ける。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p>
<p>■知識理解(4) 与えられた簡単な命題の真偽を判断できる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p>

<p>■知識理解(5) 二次関数のグラフが x 軸 y 軸方向にどのように移動したかを求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識理解(6) 平方完成を利用して、二次関数の最大値と最小値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式</p>		<p>数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。</p>
<p>■知識理解(7) 二次関数のグラフと x 軸の共有点を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式</p>		<p>数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。 また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。</p>
<p>■知識理解(8) 因数分解を利用して二次不等式の解を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式</p>		<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。</p>
<p>■知識理解(9) 鈍角の余弦を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。</p>

<p>■知識理解(10) <u>正弦定理を利用して、辺の長さを求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p>
<p>■知識理解(11) <u>余弦定理を利用して、辺の長さを求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間をの関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p>
<p>■知識理解(12) <u>三角比を利用して三角形の面積を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。</p>
<p>■知識理解(13) <u>簡単なデータから分散を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(4) データの分析</p>	<p>数学 I (4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。</p>
<p>■知識理解(14) <u>ヒストグラムや箱ひげ図の表し方を理解</u>できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>(イ) コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。</p>

<p>■知識理解(15) 順列について理解し、<u>簡単な場合の数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>
<p>■知識理解(16) 組合せについて理解し、<u>簡単な場合の数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>(2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。</p>
<p>■知識理解(17) <u>簡単な事象の確率を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>(2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。</p>
<p>■知識理解(18) <u>色のついた玉を用いて、条件を満たす場合の確率を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>(2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (オ) 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。</p>
<p>■知識理解(19) <u>角の二等分線と比の定理を利用して線分の長さを求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 図形の性質</p>	<p>数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 三角形に関する基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識理解(20) <u>メネラウスの定理を用いて、線分の長さの比を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

<p>■知識理解(21) 円の接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識理解(22) 方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(1) 有理化や展開の公式を利用して、根号を含む多項式の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p>
<p>■知識利用(2) 展開の公式を利用して、根号を含む多項式の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(3) 与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>式(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p>
<p>■知識利用(4) 文字定数を含む二次関数について、頂点の条件から関数を決定することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>関数(3) 二次</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>■知識利用(5) 文字を含む二次関数について、定義域内の最小値の条件から関数を決定することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。</p>
<p>■知識利用(6) 文字を含む二次関数について、二次方程式の二つの解の差を利用して関数を決定することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。</p>
<p>■知識利用(7) 三角形の内角の和の性質と正弦定理を利用して辺の長さを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p>
<p>■知識利用(8) 余弦定理と三角形の性質を利用して辺の長さを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		

<p>■知識利用(9) 公式を利用して三角形の面積を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p>
<p>■知識利用(10) 正弦定理と三角形の性質を利用して立体の辺の長さを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p>
<p>■知識利用(1) 順列の考え方を利用して、やや複雑な並び方の総数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。</p>
<p>■知識利用(2) 同じもの含む順列の総数を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(3) 和事象と積事象の違いを理解し、事象の確率をもれなく求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。</p>

<p>■知識利用(4) 内心の性質や角の二等分線と比の定理を用いて線分の比を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 図形の性質</p>	<p>数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 ア) 三角形に関する基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識利用(5) 接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識利用(6) 方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識理解(1) 簡単な分数式の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学 II (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ) 多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。</p>
<p>■知識理解(2) 二次方程式の解と係数の関係が理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学 II (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 エ) 二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>

<p>■知識理解(3) <u>剰余の定理</u>について理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。</p>
<p>■知識理解(4) 公式を利用して<u>点と直線の距離</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。</p>
<p>■知識理解(5) <u>条件を満たす円の方程式</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。</p>
<p>■知識理解(6) 不等式の表す領域について<u>理解</u>できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>式(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>

<p>■知識理解(7) 三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(4) 三角関数</p>	<p>数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。</p>
<p>■知識理解(8) 加法定理を利用して値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識理解(9) 三角関数を合成することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p>
<p>■知識理解(10) 指数関数の表すグラフについて理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 指数関数・対数関数</p>	<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p>
<p>■知識理解(11) 簡単な対数の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p>

<p>■知識理解(12) 導関数と極値について理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(5) 微分・積分の考え</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。</p>
<p>■知識理解(13) 関数と不定積分について理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。</p>
<p>■知識理解(14) 定積分の計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識理解(15) 等差数列の和を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) 数列</p>	<p>数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。</p>
<p>■知識理解(16) 等比数列の和を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数列</p>
<p>■知識理解(17) いろいろな数列の和を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p>
<p>■知識理解(18) 階差数列の特定の項を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>(イ) いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。</p>

<p>■知識理解(19) ベクトルの成分表示での計算ができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) ベクトル</p>	<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。</p>
<p>■知識理解(20) ベクトルの内積の値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識理解(21) 二つの垂直なベクトルと内積の関係が理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。</p>
<p>■知識理解(22) 内分点の位置ベクトルの表し方が理解できている。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。</p>
<p>■知識利用(1) 解と係数の関係と因数分解の公式を利用して式の値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>な(1) 式 いろいろ</p>	<p>数学II (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。</p>

<p>■知識利用(2) <u>因数定理を利用して, 三次方程式の解を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数定理について理解し, 簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。</p>
<p>■知識利用(3) <u>因数定理を利用して, 多項式の割り算の余りを求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(4) <u>三点を通る円の方程式を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について, 数学的活動を通して, その有用性を認識するとともに, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。</p>
<p>■知識利用(5) <u>与えられた条件を満たす点の軌跡を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(6) <u>三角関数のとり得る値の範囲を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>数(4) 三角関</p>	<p>数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について, 数学的活動を通して, その有用性を認識するとともに, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>■知識利用(7) <u>指数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(3) 指数関数・対数関数</p>	<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識利用(8) <u>対数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>■知識利用(9) <u>三次関数の最大値と最小値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(5) 微分・積分の考え</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。</p>
<p>■知識利用(10) <u>2つの放物線で囲まれた図形の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。</p>
<p>■知識利用(1) <u>公差が負である等差数列において和の最大を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>列(1) 数</p>	<p>数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>

<p>■知識利用(2) 数列の和の式から数列の一般項を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (ア) 事象から離散的な変化を見だし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。</p>
<p>■知識利用(3) Σを利用してさまざまな数列の和を求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(4) ベクトルの内積の条件などをもとにベクトルの大きさを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>	<p>(1) ベクトル</p>	<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて，数学的活動を通して，その有用性を認識するとともに，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (ア) 実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察すること。</p>
<p>■知識利用(5) ベクトルの垂直条件をもとにベクトルの成分を決定できる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		
<p>■知識利用(6) 内分点の位置ベクトルの公式を利用してやや複雑なベクトルを求めることができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学C (1) ベクトル ベクトルについて，数学的活動を通して，その有用性を認識するとともに，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解すること。</p>

<p>■数学的表現 実数解をもつような文字定数の<u>範囲を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式</p>	<p>(1) いろいろな式 (1) 数と式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 二次方程式の解の種類の見分け及び解と係数の関係について理解すること。</p>
<p>■数学的表現 解と係数の関係を利用することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅰ ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>■数学的表現 解の個数に関する条件をみたすときの文字定数の<u>値の範囲を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】短答式</p>		<p>数学Ⅰ ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>■数学的表現 命題の真偽を判断することができる。</p>	<p>【設問数】1問 【出題形式】選択式</p>		<p>数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p>

<p>■数学的表現 <u>他者の考えの方針を理解して、解答を記述することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。 〔課題学習〕 (1)から(5)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。</p>
---	--	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 2年2回-3年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 8問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6問 英語コミュニケーションⅡ 2問 【CEFR】 A1程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 文レベルで英文内容を理解し、<u>文法を正しく使用</u>することができる。</p>	<p>【設問数】9問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6問 英語コミュニケーションⅡ 4問 【CEFR】A1~A2程度</p>		<p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

<p>・文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】A1~A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
---	---	------------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・短めのまとまりのある英文を読んで、文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。</p>	<p>【設問数】 2問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 英語コミュニケーション II 1問 【CEFR】 A1～A2 程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的话题について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>英語コミュニケーション II 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的话题について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある会話や、文章の説明や物語などを読んで、 <u>テーマや概要をとらえること</u> ができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】 A1~A2程度		握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、論証文や報告文などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。
・まとまりのある説明文、会話文、電子メール、物語などから概要や要点に加え、 <u>必要な細部の情報を把握すること</u> ができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】 A1~A2程度		
・与えられた図表などの <u>情報を正しく読み取り、英語で描写することができる。</u>	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1~A2程度	書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた状況・情報を正しく読み取り、<u>自分の意見を簡潔に英語で表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1問程度</p> <p>【CEFR】A1～A2程度</p>		<p>想を伝え合ったりする活動。</p> <p>(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと</p> <p>(フ) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>(イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・会話や説明文を聞いて、その場面や状況、内容を聞き取ることができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング</p> <p>【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問 英語コミュニケーションⅡ 2問</p> <p>【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>聞くこと</p>	<p>英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (4) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・身近な話題に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる</p>	<p>【設問数】4問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (4) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p>
<p>・身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」することができる</p>	<p>【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問程度 【CEFR】A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・ <u>図や表について</u>、聞き手にその内容が伝わるように「<u>発表</u>」<u>することができる</u></p>	<p>【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>		<p>① オ 話すこと [発表] (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (4) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>英語コミュニケーション II 2 内容</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ <u>図や表に関する問いに即座に</u> 応じて、「やり取り」することができる</p>	<p>【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>		<p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (4) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p> <p>① オ 話すこと [発表] (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (4) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	言語文化																								
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情及び展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。																								
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○	問四		○	問五		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																							
問一		○																							
問二		○																							
問三		○																							
問四		○																							
問五		○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																						
問一	○																								
問二	○																								
問三	○																								
問四	○																								
問五	○																								

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 **5** 次の文章は「**二休ばなし**」の一節である。当時とんちで世間に知られていた僧である**一休**が、行き合わせた**山伏**や旅人たちと連れ立って歩いていると、向こうから大きな犬が吠えてきた。本文はそれに続く場面である。これを読んで、後の各問い(問一〜五)に答えよ。

山伏申すやう、「いかに御坊、あの恐ろしき犬の怒りをやめて、ただ今これへ呼び寄する法力をあらはさんが、御僧はいかに」と申しける。一休、「これはいとやすき事なり。先づいのりて見たまへ。もし来らずは、我等にまかせたまへ」とのたまへば、山伏大いらたかの赤木の数珠を、さらりさらりとおし揉んで、一いのりこそ祈りけるが、一切犬は吠えやまず。手元へ来る念もなかりければ、緋さまや横さまかけて十文字、「犬の喉とめよ、あびらうんけん、そわかそわか」と言へども、犬は吠えやまず。一休をかしく思しめし、「そこをきたまへ。それほどのことに、あびら

もうんけんも、そわかも要る事にてはあらず。あの犬の怒りをやめ、たちまちここへ来らせん」と、横より狂僧の焼き飯取り出だし、かの犬に一目見せて「ころころ」とのたまへば、さしも怒れる犬なれど、焼き飯一目見てしより、くんくんくんと尾を振りて来りければ、山伏も肝を消す。みな人、「さても格別なる心得かな」と、感に堪へてぞ別れけるとなり。

- (注) 1 山伏——山中で修行をする修験道の行者
 2 御坊——僧の敬称で「お坊様」の意。ここでは一休のこと。一休は室町時代の臨済宗大徳寺派の僧。
 3 いらたか——そろばん玉のように、平たく角のたった玉の数珠のこと。
 4 念——思い、気持ち。
 5 あびらうんけん、そわか——「阿比羅幡(あびら)欠蘇(くそ)感(かん)阿(あ)」。大日如来に祈るとききの真言の呪文。
 6 焼き飯——焼きおにぎり。
 7 ころころころ——犬を呼ぶときの呼び声。

問一 二重傍線部ア・イの動作主の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

38。

- | | | | | |
|---|---|----|---|----|
| ① | ア | 一休 | イ | 犬 |
| ② | ア | 山伏 | イ | 犬 |
| ③ | ア | 一休 | イ | 山伏 |
| ④ | ア | 山伏 | イ | 山伏 |

問二 傍線部A「御僧はいかに」とあるが、このときの山伏の心情の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

39。

- ① 自分の方が知恵において優れているということを見せつけて、一休の鼻を明かしてやろうという思い。
- ② 一休の法力と自分が修得した法力との力比べをして、自分の法力を見せつけようという思い。
- ③ このような場面において一休なら果たしてどのような法力を使うものか、探りを入れようという思い。
- ④ 世間知られていて有名な一休の法力を、どうにかして自分も見てみたいという思い。

問三 傍線部B「一休をかしく思しめし」とあるが、このときの
一休の心情の説明として最も適当なものを、次の①～④の
うちから一つ選べ。解答番号は 40。

- ① 犬を吠えやませる程度のこと、必要以上に仰々しく真言の呪文を使っている山伏の信心深さを興味深く思っている。
- ② 自分の法力が一休よりも優れているものと信じ込み、得意になって呪文を唱えている山伏を衰れに思っている。
- ③ 山伏が必死に呪文を唱えているにもかかわらず、犬がまったく耳を貸さずに吠え続けていることを不思議に思っている。
- ④ 犬を吠えやませる法力の効果が現れずやっきになり、大げさに真言の呪文まで唱える山伏の姿を滑稽に思っている。

問四 傍線部C「感に堪へてぞ別れける」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 41。

- ① 法力を使うことにごたわらず、現実的な方法で即座に犬を手なずけてしまった一休の臨機応変で柔軟な考え方に大いに感心したから。
- ② 一見焼きおにぎりによって犬を手なずけたように見えて、実際は功德くどくによって犬を降伏させた一休の徳の高さに驚きおののいたから。
- ③ 山伏に恥をかかせまいと正面から法力で勝負することを避け、あえて邪道とも思える方法をとった一休の優しさに感動したから。
- ④ 寡黙な犬にまったく気後れせず、法力が効かないことがわかるとすぐに焼きおにぎりで犬の怒りを鎮めた一休の豪胆さに感服したから。

問五 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一

つ選べ。解答番号は 42。

- ① 一休は山伏の申し出を快く受け入れるふりをして、まず先に山伏に折檻^{せつがん}をさせて犬の弱点を見定めようと考えた。
- ② 山伏は懸命に祈ったが、犬は山伏に法力のないことを知っていたので、吠えるのをまったくやめようとしなかった。
- ③ 犬は一休が取り出した焼きおにぎりを一目見るなり吠えるのをやめ、しっぽを振って一休のところに寄ってきた。
- ④ 吠え続けていた犬が一転してすっかり懐いてしまったのを見た山伏は、一休の法力の強大さを思い知って驚嘆した。

解答例

問一 4
問二 2
問三 4
問四 1
問五 3

<p>(参考)学習指導要領 の関連項目</p>	<p>言語文化</p> <p>[知識及び技能]</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>[思考力, 判断力, 表現力等]</p> <p>B 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えること。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈すること。</p> <p>ウ 文章の構成や展開, 表現の仕方, 表現の特色について評価すること。</p>
-----------------------------	--

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	現代の国語																		
出題のポイント	複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。																		
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
問一		○																	
問二		○																	
問三		○																	
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二			○	問三			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																
問一	○																		
問二			○																
問三			○																

国語

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科を解答してはいけません。

1 大海高等学校の生徒会では、学校生活の向上につなげていくために、生徒の要望を聞き意見箱を設置している。次の「会話文」は、意見箱を開けた生徒会メンバーの会話である。後に示す【資料①】～【資料④】を踏まえて、後の各問いに答えよ。

【会話文】

秋山 遅れてごめんなさい。意見箱の投書、何通あった？

井口 全部で八二通でした。「通学」というテーマを設定していたので、投書しやすかったんだと思います。

秋山 内容の内訳は？

井口 【資料①】です。駅から学校までの通学方法にはバスと徒歩とがありますが、それぞれの悩みがあるようです。最も多かったバスの件から検討しましょう。

宇野 僕は徒歩では間に合わず遅刻しそうなときにたまにバスに乗りますが、たしかにいつも混んでいます。

江原 そうなの？ 私はいつも徒歩だからわからないけど、乗り切れないほど混んでいるの？

宇野 さすがに乘れないと遅刻になるので、何とかぎゅうぎゅうになって乗っている感じですね。一台に最大六十人くらいでしようか。

大石 私はいつもバスだけど、早めの時間に来るバスは空いてい

るよ。

秋山 実際、どれくらいの生徒がバスに乗っているのだろう。何かデータはある？

井口 以前に学校生活アンケートで調べましたよ。ありました、【資料②】です。

全員 (資料を回覧する)

江原 始業時間に間に合う時間帯の午前7時～午前8時までの間にバスは合計五本来るから、大石さんのような人だけなら、ぜんぜん混雑しないことになるね。

大石 バスを混雑させているのは、宇野さん①のような人でしょう。宇野 たしかに、そうかもしれません。

井口 「いつも混んでいる」というのはその人の勝手な思い込みで、実際にはすべてのバスが混んでいるわけではないようです。だとすると増便のお願いをするのは難しいと思います。

秋山 この件については、次の生徒会報に、バスの利用状況の説明と、「時間に余裕をもって登校しましょう」というメッセージを載せることにします。次に通学路の件はどうかな？

江原 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望もあるけど、通学路とされている幹線道路ルートを使うと五分くらい余計にかかるから、近道になる住宅街ルートを通る人たちの気持ちもわかります。

大石 でも、ちゃんと「校則」(【資料③】)に書いてあるのだから、守らないと。

宇野 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望を解決するためには、そもそも現在の通学路に不満をもって近道になる住宅街ルートを通る生徒もいるという実態を踏まえる」と「登下校の通学路を変える」ということが根本的な解決になると思います。生徒の実態に沿った通学路に設定することで、通学路を守らない生徒もいなくなるのではないのでしょうか。江原 「通学路を変える」となると、通学路に関する校則を改正する必要があるのではないのでしょうか。そうすると、生徒集会を開いて投票することになりますね。

井口 いや、通学路を変更するために、校則を変える必要はないと思いますよ。

秋山 私も、校則を変えなくても通学路を変えられると思う。

江原 そういえば、私には十歳上の兄がいて、この高校の卒業生ですが、当時は住宅街ルートを通っちゃいけないなんて決まりはなかったって言っていましたよ。

宇野 十年以内のことなら、「大海高校新聞」のバックナンバーが電子化されているから、このパソコンですぐに調べられますよ。

秋山 そうなの？ じゃあ「通学路」で検索してみて。

宇野 あ、たぶんこれ〔資料④〕ですね。七年前の記事です。

大石 ほんとだ。この記事を読むと「通学時間が五分短くなる」だけでは通学路の見直しを求める正当な理由にならないのでは？ それに通学路を守らないひとたちのために通学路を変更するというのもおかしい話だと思えます。

江原 そうだね。じゃあ通学路も現状通りがよいかと思います。通学路を守らない生徒への注意喚起を行っていくことにしましょう。次は工事の件ですね。

秋山 私も工事は気になってはいたけど、あそこには何ができるの？

大石 大型商業施設。半年後に開業だそうです。

宇野 開業するのが楽しみです。

江原 でも、半年間はけっこう不便ですね。工事車両の出入りはちやうど登校時間と重なっており、この投書の人たちみたい

に危ないと感じている人も多いと思います。大石 だからって、さすがに工事の時間を変えてくださいとは言えないでしょう。

宇野 それなら工事期間中だけは、通学路を変えたほうがいいのではないのでしょうか？これは正当な理由になると思います。

江原 そうですね、それで先生たちに提案してみませんか。

秋山 まあ、それなら説得力はありそうですね。ただ、提案は生徒の要望を代表してするものだから、どのくらいの人が賛成してくれるか、投票でなくてもいいから調べる必要があるね。

井口 では、来週のホームルームでアンケートを行って、生徒の賛否を調べます。通学路の見直しに賛成する生徒が多ければ、具体的に先生方への提案書をまとめることにしましょう。

秋山 もし提案することになった場合に向けて、生徒会も生徒に對して取り組めることがないかを〔資料④〕の内容に基づいて話し合っておきましょう。

(意見箱 集計結果)

今月のテーマ「通学」に寄せられた意見
(同様の内容のものは同じ内容として扱い、まとめて集計してあります)

投書の内容	投書数
駅から学校までのバスがいつも混んでいてつらい。バスの便を増やしてほしい。	27
学校から指定された通学路が遠回りでご不便。近道(住宅街を通り抜けるルート)も認めてほしい。	23
通学路のそばで工事が始まったが、工事用車両の出入り口などで危険や不便を感じている。対策を考えてほしい。	17
通学路がわかりにくい。入学時にプリントを配布するだけでは忘れてしまう。ポスターや看板で掲示してほしい。	5
通学路を守らない人がたまにいるが、注意する人がいない。通学路を守るよう指導を徹底してほしい。	3
その他(「通学」以外に対する意見)	7

(大海高校 学校生活アンケートより)

質問：駅から学校までの通学手段は何ですか？(全校生徒を対象)

	1年生	2年生	3年生	合計
a いつも徒歩	110	98	92	300
b 徒歩が多いが、たまにバス	20	24	22	66
c 徒歩・バス同じ程度使う	15	18	16	49
d バスが多いが、たまに徒歩	15	14	22	51
e いつもバス	20	26	28	74
合計	180	180	180	540

質問：バスを利用する理由は何ですか？(b～eを選んだ生徒を対象)

[自由回答。()内の数字は同様の内容を回答した生徒の人数]

徒歩だと間に合わない(56) ・ 通学路が不便(24)
 天気の悪い日だけバスを利用(32) ・ 友達もバス通学(15)
 病気、けが(13) ・ その他(7)

【資料③】

校則より

〔登下校について〕

- ・生徒は登校時刻・下校時刻を厳守すること。
- ・駅から本校までの自転車通学は認めない。ただし、自宅から最寄り駅までの自転車利用は差し支えない。自動車・オートバイなどの利用はいずれも禁止する。
- ・登下校の際は制服をきちんと着用し、地域の方の迷惑にならないようにするなど、本校生徒としての品位を保つよう心がけること。
- ・登下校の際は指定された通学路を利用し、正当な理由なく通学路から外れないこと。
- ・登下校の途中、喫茶店・飲食店・ゲームセンター等に立ち寄りてはいけない。

〔改正について〕

- ・生徒集会で全校生徒の三分の二の賛成を得、かつ職員会議の承認が得られた場合は、本校則を改正することができる。

【資料④】

通学路改定

住宅街ルートは通行禁止

二月末に行われた職員会議で通学路の改定が話し合われ、住宅街を通り抜けるルートへの利用は今後禁止し、幹線道路沿いのルートのみを認めることが決定された。変更は四月の新学期から適用される。

住宅街ルートでは生徒の通学マナーの悪さ（大声で騒ぐ、広がって歩道を塞ぐ・ゴミをポイ捨てする）などが以前から問題視されており、住民の苦情が無視できないレベルに達したためという。

幹線道路ルートは住宅街ルートに比べ五〇〇ほど遠回りになるため、生徒には不満の声が広がっている。

【川内先生（生徒指導部長）のコメント】

「学校には地域の信頼が不可欠なので、理解してほしい。今後、住宅街を通る生徒は校則違反として指導する。幹線道路ルートは交通量が多く、信号無視などは極めて危険なので、交通ルール順守も同時に求めていく。」

（相川）

解答例	<p>問一 4</p> <p>問二 (例) 具体的な通学路は校則に書いていないから。(20字)</p> <p>問三 (例) 安全のため、工事の終了までの間、住宅街を通る道を通学路として認めてほしい。生徒会でも生徒に通学マナーの向上を呼びかける。(60字)</p>
<p>(参考)</p> <p>学習指導要領の関連項目</p>	<p>現代の国語</p> <p>〔思考力, 判断力, 表現力等〕</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 読み手の理解が得られるよう, 論理の展開, 情報の分量や重要度などを考えて, 文章の構成や展開を工夫すること。</p> <p>ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう, 根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに, 文章の種類や, 文体, 語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握すること。</p> <p>イ 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	数学 I																				
出題のポイント	定理・公式や数学的性質などの知識・技能の理解を測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○		(3)	○		(4)	○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
(1)	○																				
(2)	○																				
(3)	○																				
(4)	○																				
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○		
番号	選択式	短答式	記述式																		
(1)	○																				
(2)	○																				
(3)	○																				
(4)	○																				
サンプル問題	<p>(1) $xy^3(x^3y)^2 = \boxed{\text{ア}}$ である。</p> <p>① x^6y^6 ② x^7y^5 ③ x^9y^6 ④ $x^{10}y^5$</p> <p>(2) $3x^2 - 5x - 12 = \boxed{\text{イ}}$ である。</p> <p>① $(x-3)(3x+4)$ ② $(x+3)(3x-4)$ ③ $(x-6)(3x+2)$ ④ $(x+6)(3x-2)$</p> <p>(3) $\sqrt{(-9)^2} = \boxed{\text{ウ}}$ である。</p> <p>① -9 ② 9 ③ ± 9 ④ 81</p> <p>(4) $3 - \sqrt{10} = \boxed{\text{エ}}$ である。</p> <p>① $-3 - \sqrt{10}$ ② $3 - \sqrt{10}$ ③ $-3 + \sqrt{10}$ ④ $3 + \sqrt{10}$</p>																				

<p>解答例</p>	<p>(1) 指数法則 (数と式)</p> $a^m a^n = a^{m+n}, (a^m)^n = a^{mn}, (ab)^n = a^n b^n$ <p>(ただし, m, n は正の整数)</p> <p>(2) 因数分解 (数と式)</p> $acx^2 + (ad+bc)x + bd = (ax+b)(cx+d)$ <p>a, b, c, d を見つけるためには,</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">\rightarrow</td> <td style="text-align: center;">bc</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">d</td> <td style="text-align: center;">\rightarrow</td> <td style="text-align: center;">ad</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ac</td> <td style="text-align: center;">bd</td> <td style="text-align: center;">$ad+bc$</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(x^2 の係数) (定数項) (x の係数)</p> <p>(3) 平方根 (数と式)</p> <p>a を実数とする。</p> $\begin{cases} a \geq 0 \text{ のとき, } \sqrt{a^2} = a \\ a < 0 \text{ のとき, } \sqrt{a^2} = -a \end{cases}$ <p>まとめると, $\sqrt{a^2} = a$</p> <p>(4) 絶対値 (数と式)</p> <p>a を実数とする。</p> $\begin{cases} a \geq 0 \text{ のとき, } a = a \\ a < 0 \text{ のとき, } a = -a \end{cases}$	a	b	\rightarrow	bc	c	d	\rightarrow	ad	ac	bd	$ad+bc$		<p>(1) ②</p> $\begin{aligned} & xy^3(x^3y)^2 \\ &= xy^3(x^3)^2y^2 \\ &= xy^3x^{3 \times 2}y^2 \\ &= x^{1+6}y^{3+2} = x^7y^5 \end{aligned}$ <p>(2) ①</p> $\begin{aligned} & 3x^2 - 5x - 12 \\ &= (x-3)(3x+4) \end{aligned}$ <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-3</td> <td style="text-align: center;">\rightarrow</td> <td style="text-align: center;">-9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">\rightarrow</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">-12</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-5</td> </tr> </table> <p>(3) ②</p> $\sqrt{(-9)^2} = -(-9) = 9$ <p>または,</p> $\sqrt{(-9)^2} = -9 = 9$ <p>としてもよい。</p> <p>(4) ③</p> $\begin{aligned} 3 &= \sqrt{3^2} = \sqrt{9} \\ \sqrt{9} &< \sqrt{10} \text{ より,} \\ 3 - \sqrt{10} &< 0 \end{aligned}$ <p>よって,</p> $\begin{aligned} & 3 - \sqrt{10} \\ &= -(3 - \sqrt{10}) \\ &= -3 + \sqrt{10} \end{aligned}$	1	-3	\rightarrow	-9	3	4	\rightarrow	4	3	-12		-5
a	b	\rightarrow	bc																							
c	d	\rightarrow	ad																							
ac	bd	$ad+bc$																								
1	-3	\rightarrow	-9																							
3	4	\rightarrow	4																							
3	-12		-5																							
<p>(参考) 学習指導要領の関連項目</p>	<p>(1), (2)</p> <p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>(3), (4)</p> <p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。</p>																									

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																										
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。																										
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問4</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問5</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問1		○	問2		○	問3		○	問4		○	問5		○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																									
問1		○																									
問2		○																									
問3		○																									
問4		○																									
問5		○																									
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問2</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問4</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問5</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>			番号	選択式	短答式	記述式	問1		○		問2		○		問3		○		問4			○	問5		○	
番号	選択式	短答式	記述式																								
問1		○																									
問2		○																									
問3		○																									
問4			○																								
問5		○																									
サンプル問題	<p>ある日、太郎さん、花子さんのクラスでは、次のような宿題が出された。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【宿題】 2次方程式 $x^2-2x-1=0$ の大きい方の解を a とするとき、a^3 の値を求めよ。</p></div> <p>この宿題についての2人の会話を読み、下の各問いに答えよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>太郎：$x^2-2x-1=0$ だから、解の公式を用いればいいね。大きい方の解だから、 $a = \boxed{\text{ア}}$ だね。</p><p>花子：a^3 の値を求めるためには $a = \boxed{\text{ア}}$ を3乗すればいいね。$(x+y)^3$ を展開すると $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y) = (x^2+2xy+y^2)(x+y) = \boxed{\text{イ}}$ となるね。この式を利用すると、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ だね。</p><p>太郎：これで答えは出るけれども、先生が次のような解き方を教えて下さったのを覚えているよ。</p><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>【解き方】 a は $x^2-2x-1=0$ の解であるから、$a^2-2a-1=0$ が成り立つ。 $a^2 = 2a+1$ となるので $a^3 = a^2 \cdot a$ $= (2a+1) \cdot a$ $= 2a^2+a$ $= 2(2a+1)+a$ $= 5a+2$ よって、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$</p></div><p>花子：そうか、この解き方を使えば a の次数が高くなっても計算は複雑にならないね。</p></div>																										

先生と同じように解けば、 $a = \boxed{\text{ア}}$ のとき、例えば a^5 は

あ

と、 a の 1 次式の形で表されるから、 a^5 の値も簡単に求めることができるね。

太郎：【宿題】は、 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の大きい方の解の累乗の値について考えたけど、

① 小さい方の解の累乗の値についてはどうなるのかな？

問 1 $\boxed{\text{ア}}$ に当てはまる数を答えよ。

問 2 $\boxed{\text{イ}}$ に当てはまる式を答えよ。

問 3 $\boxed{\text{ウ}}$ に当てはまる数を答えよ。

問 4 $\boxed{\text{あ}}$ に、 a^5 を a の 1 次式で表す過程を記述せよ。

問 5 下線部①について、2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の小さい方の解を b とおくと、 b^5 の値を求めよ。 $\boxed{\text{エ}}$

解答例

問 1 2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ について、解の公式により

$$x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 1 \cdot (-1)}}{1} = 1 \pm \sqrt{2}$$

2 つの解のうち、大きい方が a であるから $a = 1 + \sqrt{2}$

問 2 $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y)$

$$\begin{aligned} &= (x^2 + 2xy + y^2)(x+y) \\ &= x^3 + x^2y + 2x^2y + 2xy^2 + xy^2 + y^3 \\ &= x^3 + 3x^2y + 3xy^2 + y^3 \end{aligned}$$

問 3 $a = 1 + \sqrt{2}$ のとき、 a^3 の値は、問 2 の式で、 $x = 1$ 、 $y = \sqrt{2}$ として

$$\begin{aligned} (1 + \sqrt{2})^3 &= 1^3 + 3 \times 1^2 \times \sqrt{2} + 3 \times 1 \times (\sqrt{2})^2 + (\sqrt{2})^3 \\ &= 1 + 3\sqrt{2} + 6 + 2\sqrt{2} \\ &= 7 + 5\sqrt{2} \end{aligned}$$

問 4 a は 2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の解であるから、 $a^2 - 2a - 1 = 0$ が成り立つ。

したがって、 a は $a^2 = 2a + 1$ を満たす。

また、【解き方】の計算から、 $a^3 = 5a + 2$ と表されることに着目すると

$$\begin{aligned} a^5 &= a^3 \times a^2 \\ &= (5a + 2)(2a + 1) \\ &= 10a^2 + 9a + 2 \\ &= 10(2a + 1) + 9a + 2 \\ &= 29a + 12 \end{aligned}$$

したがって、 a^5 も a の 1 次式で表すことができる。

〔問 4 の別解〕

$$\begin{aligned} a^4 &= a^3 \times a \\ &= (5a + 2) \times a \\ &= 5a^2 + 2a \\ &= 5(2a + 1) + 2a \\ &= 12a + 5 \\ a^5 &= a^4 \times a \\ &= (12a + 5) \times a \\ &= 12a^2 + 5a \\ &= 12(2a + 1) + 5a \\ &= 29a + 12 \end{aligned}$$

ポイント

2 次方程式 $ax^2 + 2bx + c = 0$ の解は

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - ac}}{a}$$

ねらい

与えられた考え方を理解し、他の場合にも活用できるかどうかを問うた。

ポイント

a^3 を a の 1 次式で表したものをを用いることで、効率よく計算ができる。 a^2 が現れたら $2a + 1$ に置き換えて計算をする。

	<p>問5 $x^2-2x-1=0$ の小さい方の解を b とおくと、問1の解答の計算から</p> $b=1-\sqrt{2}$ <p>b は $b^2-2b-1=0$ を満たすから、問4と同様にして</p> $b^3=29b+12$ <p>と、b^3 を b の1次式で表すことができる。</p> <p>よって、$b=1-\sqrt{2}$ のとき、b^3 の値は</p> $\begin{aligned} b^3 &= 29b+12 \\ &= 29(1-\sqrt{2})+12 \\ &= 41-29\sqrt{2} \end{aligned}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント</p> <p>b も $x^2-2x-1=0$ の解であるから、a と同じ関係式を満たすことに着目する。</p> </div>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。”</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p> <p>〔課題学習〕</p> <p>(1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主體的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	言語文化																								
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。																								
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○	問四		○	問五		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																							
問一		○																							
問二		○																							
問三		○																							
問四		○																							
問五		○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																						
問一	○																								
問二	○																								
問三	○																								
問四	○																								
問五	○																								

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 **5** 次の文章を読んで、後の各問い(問一～五)に答えよ。

一休和尚(注1)の庵(注2)近きあたりに、四十雀(注3)を愛して飼ひける者ありしが、生ある者なれば、死する期ありて、籠の内にむなしくなれり。朝夕手馴れし可愛(注4)さに、ことのほか不憫(注5)におぼえ、いとかなしくて、子に別れたる思ひをなせり。

「およそ非情無心の物だにも、おのおの仏性(注6)を具せり。まして、いはんや生ある物をや。死出の山、三途の河、冥途(注7)の闇いかが有らん。しかるべき智者(注8)をたのみて、引導(注9)渡さばや」と思ひ、一休の庵にたづね入りて、然々の事、頼み申したき由嘆きければ、折ふし和尚の弟子出で会ひ、「いとやすき事なり。いでいで成仏得ません」とて、仏前に向かはせ、足下(注10)に引導(注11)渡しける。

むかし釈尊(注12)八十三、跋提河(注13)に於いて涅槃(注14)に入る。今なんぢ

四十から、むらさきの野(注8)に成仏を遂ぐ、と高らかにこそ授けける。かの者頼もしく思ひ、やがて葬りて帰る。

これを一休物ごしに聞こしめし、「ただ今の引導は、よくでかしたる小僧かな。風骨(注9)による」と思しめし、大きに喜ばせ給ひ、機嫌(注10)の良き事なのめならず。

〔一休ばなし〕による

- (注) 1 一休和尚——一休宗純。室町時代の臨済宗大徳寺派の僧。知恵や見識のある僧として有名。
- 2 四十雀——スズメ目シジュウカラ科の鳥。
- 3 仏性——死んでこの世に未練を残さず仏となる(成仏する)ことのできる性質。
- 4 引導——死者を葬る前に仏教の教えなどを説き、迷うことのないように極楽浄土へ導くこと。
- 5 釈尊——釈迦の尊称。
- 6 跋提河——古代インドの川の名前。釈迦がこの川の西岸で入滅した(亡くなった)ことで知られる。
- 7 涅槃——釈迦が入滅する(亡くなる)こと。
- 8 むらさきの野——紫野のこと。紫野は大徳寺のある京都の地名。
- 9 風骨——姿や様子や精神などの独特の趣。風格。
- 10 機嫌——機嫌の良き事なのめならず。

サンプル問題

■設問

問一 二重傍線部ア～ウの主語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 38。

- ① ア 四十雀 イ 一休の弟子 ウ 四十雀の飼い主
- ② ア 四十雀の飼い主 イ 一休和尚 ウ 一休和尚
- ③ ア 四十雀 イ 一休の弟子 ウ 一休和尚
- ④ ア 四十雀の飼い主 イ 一休和尚 ウ 四十雀の飼い主

問二 傍線部A「いはんや生ある物をや」とあるが、どういうことを言っているのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 39。

- ① 情緒を解さない人や動物でさえも成仏はできるが、命があっても四十雀のような感情のない動物は果たして成仏できるのだろうかということ。
- ② 人らしい感情などなくても無欲の者であれば成仏することができるのならば、籠で飼われていた四十雀はもちろん成仏できるはずだということ。
- ③ 心というものをもたない器物などは成仏できるはずもないが、命ある生き物である四十雀ならば場合によっては成仏することもあろうということ。
- ④ 心を解さず生き物ではないようなものであっても成仏することができるのだから、命のある四十雀ならば当然成仏することができるということ。

問三 傍線部B「一休の庵にたづね入りて」とあるが、なぜそのようにしたのか。その理由として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 40。

- ① 四十雀の靈魂が成仏できないようではかわいそうなので、高名な一休に頼んで十分な供養くわいをしてやるため。
- ② 死んで成仏できずに迷ってしまっている四十雀の苦しみを感じ、一休に頼んで引導を渡してもらうため。
- ③ 四十雀のように人の心を解さないものにも引導を渡すことができるという、一休の弟子のところに連れて行くため。
- ④ 四十雀のことを飼い主同様とてもかわいがっていた一休に、浄土に導いて靈魂を慰めてもらうため。

問四 傍線部C「機嫌の良き事なのめならず」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 41。

- ① 弟子が四十雀の飼い主を口先でうまく丸め込んで満足させたことを小気味よく思ったから。
- ② 弟子が要領よく立ち回ったことで自分が四十雀の飼い主の相手をしなくてすんで安心したから。
- ③ その場で得意即妙な言い回しを考えて四十雀に立派に引導を渡した弟子の機転に感心したから。
- ④ 四十雀にまるで人間に対するかのように立派に引導を渡した弟子の優しさを好ましく思ったから。

問五 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 42。

① 四十雀の飼い主は、ふさわしい人脈を頼って一休に引導を渡すことを頼みたいと願ったが、実際に一休と会うことはできなかった。

② 我が子同然にかわいがっていた四十雀に死なれた飼い主は、何とか成仏させてやろうと思ひ、高名な一休に引導を渡してもらおうと考えた。

③ 弟子思いの一休は、四十雀に引導を渡すというのはなかなか難しいことだがよい修行になると思ひ、その役割を弟子に譲ることにした。

④ 一休は、弟子が四十雀に引導を渡す場面を物陰から見ていて、その弟子の引導の内容が風雅であることを大いに褒めて、飼い主を喜ばせた。

解答例

- 問一 1
- 問二 4
- 問三 1
- 問四 3
- 問五 2

<p>(参考)学習指導要領 の関連項目</p>	<p>言語文化</p> <p>[知識及び技能]</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>[思考力, 判断力, 表現力等]</p> <p>B 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えること。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈すること。</p> <p>ウ 文章の構成や展開, 表現の仕方, 表現の特色について評価すること。</p>
-----------------------------	--

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	現代の国語																		
出題のポイント	複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。																		
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
問一		○																	
問二		○																	
問三		○																	
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二			○	問三			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																
問一	○																		
問二			○																
問三			○																

国語

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科を解答してはいけません。

1

大海高等学校の生徒会では、学校生活の向上につなげていくために、生徒の要望を聞く意見箱を設置している。次の「会話文」は、意見箱を開けた生徒会メンバーの会話である。後に示す【資料①】～【資料④】を踏まえて、後の各問いに答えよ。

【会話文】

秋山 遅れてごめんなさい。意見箱の投書、何通あった？

井口 全部で八二通でした。「通学」というテーマを設定していたので、投書しやすかったんだと思います。

秋山 内容の内訳は？

井口 【資料①】です。駅から学校までの通学方法にはバスと徒歩とがありますが、それぞれの悩みがあるようです。最も多かったバスの件から検討しましょう。

宇野 僕は徒歩では間に合わず遅刻しそうなときにたまにバスに乗りますが、たしかにいつも混んでいます。

江原 そうなの？ 私はいつも徒歩だからわからないけど、乗り切れないほど混んでいるの？

宇野 さすがに乘れないと遅刻になるので、何とかぎゅうぎゅうになって乗っている感じですね。一台に最大六十人くらいでしょうか。

大石 私はいつもバスだけど、早めの時間に来るバスは空いてい

るよ。

秋山 実際、どれくらいの生徒がバスに乗っているのだろう。何かデータはある？

井口 以前に学校生活アンケートで調べましたよ。ありました、【資料②】です。

全員 (資料を回覧する)

江原 始業時間に間に合う時間帯の午前7時～午前8時までの間にバスは合計五本来るから、大石さんのような人だけなら、ぜんぜん混雑しないことになるね。

大石 バスを混雑させているのは、宇野さんのような人でしょう。宇野 たしかに、そうかもしれません。

井口 「いつも混んでいる」というのはその人の勝手な思い込みで、実際にはすべてのバスが混んでいるわけではないようです。だとすると増便のお願いをするのは難しいと思います。

秋山 この件については、次の生徒会報に、バスの利用状況の説明と、「時間に余裕をもって登校しましょう」というメッセージを載せることにします。次に通学路の件はどうか？

江原 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望もあるけど、通学路とされている幹線道路ルートを使うと五分钟左右の余裕にかかるから、近道になる住宅街ルートを通る人たちの気持ちもわかります。

大石 でも、ちゃんと「校則」(資料③)に書いてあるのだから、守らないと。

サンプル
問題

■設問

宇野 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望を解決するためには、そもそも現在の通学路に不満をもって近道になる住宅街ルートを通る生徒もいるという実態を踏まえる」と「登下校の通学路を変える」ということが根本的な解決になると思います。生徒の実態に沿った通学路に設定することで、通学路を守らない生徒もいなくなるのではないのでしょうか。江原 「通学路を変える」となると、通学路に関する校則を改正する必要があるのではないのでしょうか。そうすると、生徒集会を開いて投票することになりますね。

井口 いや、通学路を変更するために、校則を変える必要はないと思いますよ。

秋山 私も、校則を変えなくても通学路を変えられると思う。

江原 そういえば、私には十歳上の兄がいて、この高校の卒業生ですが、当時は住宅街ルートを通っちゃいけないなんて決まりはなかったって言っていましたよ。

宇野 十年以内のことなら、「大海高校新聞」のバックナンバーが電子化されているから、このパソコンですぐに調べられますよ。

秋山 そうなの？ じゃあ「通学路」で検索してみて。

宇野 あ、たぶんこれ〔資料④〕ですね。七年前の記事です。

大石 ほんとだ。この記事を読むと「通学時間が五分短くなる」だけでは通学路の見直しを求める正当な理由にならないのでは？ それに通学路を守らないひとたちのために通学路を変更するというのもおかしい話だと思えます。

江原 そうだね。じゃあ通学路も現状通りがよいかと思います。通学路を守らない生徒への注意喚起を行っていくことにしましょう。次は工事の件ですね。

秋山 私も工事は気になってはいたけど、あそこには何ができるの？

大石 大型商業施設。半年後に開業だそうです。

宇野 開業するのが楽しみです。

江原 でも、半年間はけっこう不便ですね。工事車両の出入りはちやうど登校時間と重なっており、この投書の人たちみたい

に危ないと感じている人も多いと思います。

大石 だからって、さすがに工事の時間を変えてくださいとは言えないでしょう。

宇野 それなら工事期間中だけは、通学路を変えたほうがいいのではないのでしょうか？これは正当な理由になると思います。

江原 そうですね、それで先生たちに提案してみませんか。

秋山 まあ、それなら説得力はありそうですね。ただ、提案は生徒の要望を代表してするものだから、どのくらいの人が賛成してくれるか、投票でなくてもいいから調べる必要があるね。

井口 では、来週のホームルームでアンケートを行って、生徒の賛否を調べます。通学路の見直しに賛成する生徒が多ければ、

具体的に先生方への提案書をまとめることにしましょう。

秋山 もし提案することになった場合に向けて、生徒会も生徒に對して取り組めることがないかを〔資料④〕の内容に基づいて話し合っておきましょう。

(意見箱 集計結果)

今月のテーマ「通学」に寄せられた意見
(同様の内容のものは同じ内容として扱い、まとめて集計してあります)

投書の内容	投書数
駅から学校までのバスがいつも混んでいてつらい。バスの便を増やしてほしい。	27
学校から指定された通学路が遠回りでご不便。近道(住宅街を通り抜けるルート)も認めてほしい。	23
通学路のそばで工事が始まったが、工事用車両の出入り口などで危険や不便を感じている。対策を考えてほしい。	17
通学路がわかりにくい。入学時にプリントを配布するだけでは忘れてしまう。ポスターや看板で掲示してほしい。	5
通学路を守らない人がたまにいるが、注意する人がいない。通学路を守るよう指導を徹底してほしい。	3
その他(「通学」以外に対する意見)	7

(大海高校 学校生活アンケートより)

質問：駅から学校までの通学手段は何ですか？(全校生徒を対象)

	1年生	2年生	3年生	合計
a いつも徒歩	110	98	92	300
b 徒歩が多いが、たまにバス	20	24	22	66
c 徒歩・バス同じ程度使う	15	18	16	49
d バスが多いが、たまに徒歩	15	14	22	51
e いつもバス	20	26	28	74
合計	180	180	180	540

質問：バスを利用する理由は何ですか？(b～eを選んだ生徒が対象)

[自由回答。()内の数字は同様の内容を回答した生徒の人数]

徒歩だと間に合わない(56) ・ 通学路が不便(24)
 天気の悪い日だけバスを利用(32) ・ 友達もバス通学(15)
 病気、けが(13) ・ その他(7)

【資料③】

校則より

〔登下校について〕

- ・生徒は登校時刻・下校時刻を厳守すること。
- ・駅から本校までの自転車通学は認めない。ただし、自宅から最寄り駅までの自転車利用は差し支えない。自動車・オートバイなどの利用はいずれも禁止する。
- ・登下校の際は制服をきちんと着用し、地域の方の迷惑にならないようにするなど、本校生徒としての品位を保つよう心がけること。
- ・登下校の際は指定された通学路を利用し、正当な理由なく通学路から外れないこと。
- ・登下校の途中、喫茶店・飲食店・ゲームセンター等に立ち寄りてはいけない。

〔改正について〕

- ・生徒集会で全校生徒の三分の二の賛成を得、かつ職員会議の承認が得られた場合は、本校則を改正することができる。

【資料④】

通学路改定

住宅街ルートは通行禁止

二月末に行われた職員会議で通学路の改定が話し合われ、住宅街を通り抜けるルートへの利用は今後禁止し、幹線道路沿いのルートのみを認めることが決定された。変更は四月の新学期から適用される。

住宅街ルートでは生徒の通学マナーの悪さ（大声で騒ぐ、広がって歩道を塞ぐ・ゴミをポイ捨てする）などが以前から問題視されており、住民の苦情が無視できないレベルに達したためという。

幹線道路ルートは住宅街ルートに比べ五〇％ほど遠回りになるため、生徒には不満の声が広がっている。

【川内先生（生徒指導部長）のコメント】

「学校には地域の信頼が不可欠なので、理解してほしい。今後、住宅街を通る生徒は校則違反として指導する。幹線道路ルートは交通量が多く、信号無視などは極めて危険なので、交通ルール順守も同時に求めていく。」
(相川)

<p>(参考)</p> <p>学習指導要領の関連項目</p>	<p>現代の国語</p> <p>〔思考力, 判断力, 表現力等〕</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 読み手の理解が得られるよう, 論理の展開, 情報の分量や重要度などを考えて, 文章の構成や展開を工夫すること。</p> <p>ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう, 根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに, 文章の種類や, 文体, 語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握すること。</p> <p>イ 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めること。</p>
--------------------------------	---

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	数学 I																				
出題のポイント	習得した数学の知識・技能を活用できるかを測定する。																				
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○		(3)	○		(4)	○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																			
(1)	○																				
(2)	○																				
(3)	○																				
(4)	○																				
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○		
番号	選択式	短答式	記述式																		
(1)	○																				
(2)	○																				
(3)	○																				
(4)	○																				
サンプル問題	<p>(1) $x^2+16x+64-49y^2=(x+\text{ア})y+(\text{イ})(x-\text{ウ})y+(\text{エ})$ である。</p> <p>(2) $x=\sqrt{3}+2\sqrt{2}$, $y=\sqrt{3}-2\sqrt{2}$ のとき, $x^2-xy+y^2=\text{オカ}$ である。</p> <p>(3) $(\sqrt{6}+\sqrt{3}+2)(\sqrt{6}-\sqrt{3}+2)=\text{キ}+\text{ク}\sqrt{\text{ケ}}$ である。</p> <p>(4) ある整数 x を 3 倍した数に, x から 5 を引いて 8 倍した数を加えた数が, 0 以上 50 以下であるような整数 x は全部で コ 個ある。</p>																				

<p>解答例</p>	<p>(1) 因数分解 (数と式)</p> $x^2+16x+64-49y^2$ $= (x+8)^2 - (7y)^2$ $= (x+8+7y)(x+8-7y)$ $= (x+7y+8)(x-7y+8)$ <p>(2) 対称式の計算 (数と式)</p> $x+y = (\sqrt{3}+2\sqrt{2})+(\sqrt{3}-2\sqrt{2})$ $= 2\sqrt{3}$ $xy = (\sqrt{3}+2\sqrt{2})(\sqrt{3}-2\sqrt{2})$ $= (\sqrt{3})^2 - (2\sqrt{2})^2$ $= 3-8$ $= -5$ <p>よって</p> $x^2-xy+y^2 = (x+y)^2 - 3xy$ $= (2\sqrt{3})^2 - 3 \cdot (-5)$ $= 12+15 = 27$ <p>(3) 無理数の計算 (数と式)</p> $(\sqrt{6}+\sqrt{3}+2)(\sqrt{6}-\sqrt{3}+2)$ $= \{(\sqrt{6}+2)+\sqrt{3}\}\{(\sqrt{6}+2)-\sqrt{3}\}$ $= (\sqrt{6}+2)^2 - (\sqrt{3})^2$ $= (\sqrt{6})^2 + 2 \cdot \sqrt{6} \cdot 2 + 2^2 - 3$ $= 7+4\sqrt{6}$ <p>(4) 1次不等式 (数と式)</p> $0 \leq 3x+8(x-5) \leq 50$ $0 \leq 11x-40 \leq 50$ $40 \leq 11x \leq 90$ $\frac{40}{11} \leq x \leq \frac{90}{11}$ <p>ここで, $\frac{40}{11} = 3.63\dots$, $\frac{90}{11} = 8.18\dots$ であるから, これを満たす整数 x は, 4, 5, 6, 7, 8 の全部で5個ある。</p>	<p>◀ $x+8 = A$, $7y = B$ とおくと, $A^2 - B^2$ の形になっている。</p> <p>◀ $x^2 - xy + y^2$ を和 $x+y$ と積 xy だけで表す。 $x^2 + y^2 = (x+y)^2 - 2xy$</p> <p>◀ $A = \sqrt{6} + 2$, $B = \sqrt{3}$ とおくと, $(A+B)(A-B)$ の形になっている。</p> <p>◀ $A \leq B$ ならば $A+C \leq B+C$ であるから, $0+40 \leq 11x-40+40 \leq 50+40$</p>
<p>(参考) 学習指導要領の関連項目</p>	<p>(1), (2), (3) 数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 ウ 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 イ 問題を解決する際に, 既に学習した計算の方法と関連付けて, 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p> <p>(4) 数学 I (1) 数と式</p>	

	<p>数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めること。</p> <p>イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用すること。</p>
--	--

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I			
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。			
主として問う能力	番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	
	問1		○	
	問2		○	
	問3		○	
	問4		○	
	問5		○	
出題形式	番号	選択式	短答式	記述式
	問1		○	
	問2		○	
	問3		○	
	問4			○
	問5		○	
サンプル問題	<p>ある日、太郎さん、花子さんのクラスでは、次のような宿題が出された。</p> <p>【宿題】 2次方程式 $x^2-2x-1=0$ の大きい方の解を a とするとき、a^3 の値を求めよ。</p> <p>この宿題についての2人の会話を読み、下の各問いに答えよ。</p> <p>太郎：$x^2-2x-1=0$ だから、解の公式を用いればいいね。大きい方の解だから、 $a = \boxed{\text{ア}}$ だね。</p> <p>花子：a^3 の値を求めるためには $a = \boxed{\text{ア}}$ を3乗すればいいね。$(x+y)^3$ を展開すると $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y) = (x^2+2xy+y^2)(x+y) = \boxed{\text{イ}}$ となるね。この式を利用すると、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ だね。</p> <p>太郎：これで答えは出るけれども、先生が次のような解き方を教えて下さったのを覚えているよ。</p> <p>【解き方】 a は $x^2-2x-1=0$ の解であるから、$a^2-2a-1=0$ が成り立つ。 $a^2 = 2a+1$ となるので $a^3 = a^2 \cdot a$ $= (2a+1) \cdot a$ $= 2a^2 + a$ $= 2(2a+1) + a$ $= 5a+2$ よって、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$</p> <p>花子：そうか、この解き方を使えば a の次数が高くなっても計算は複雑にならないね。</p>			

先生と同じように解けば、 $a = \boxed{\text{ア}}$ のとき、例えば a^5 は

あ

と、 a の 1 次式の形で表されるから、 a^5 の値も簡単に求めることができるね。

太郎：【宿題】は、 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の大きい方の解の累乗の値について考えたけど、

① 小さい方の解の累乗の値についてはどうなるのかな？

問 1 $\boxed{\text{ア}}$ に当てはまる数を答えよ。

問 2 $\boxed{\text{イ}}$ に当てはまる式を答えよ。

問 3 $\boxed{\text{ウ}}$ に当てはまる数を答えよ。

問 4 $\boxed{\text{あ}}$ に、 a^5 を a の 1 次式で表す過程を記述せよ。

問 5 下線部①について、2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の小さい方の解を b とおくと、 b^5 の値を求めよ。 $\boxed{\text{エ}}$

解答例

問 1 2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ について、解の公式により

$$x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 1 \cdot (-1)}}{1} = 1 \pm \sqrt{2}$$

2 つの解のうち、大きい方が a であるから $a = 1 + \sqrt{2}$

問 2 $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y)$

$$\begin{aligned} &= (x^2 + 2xy + y^2)(x+y) \\ &= x^3 + x^2y + 2x^2y + 2xy^2 + xy^2 + y^3 \\ &= x^3 + 3x^2y + 3xy^2 + y^3 \end{aligned}$$

問 3 $a = 1 + \sqrt{2}$ のとき、 a^3 の値は、問 2 の式で、 $x = 1$ 、 $y = \sqrt{2}$ として

$$\begin{aligned} (1 + \sqrt{2})^3 &= 1^3 + 3 \times 1^2 \times \sqrt{2} + 3 \times 1 \times (\sqrt{2})^2 + (\sqrt{2})^3 \\ &= 1 + 3\sqrt{2} + 6 + 2\sqrt{2} \\ &= 7 + 5\sqrt{2} \end{aligned}$$

問 4 a は 2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の解であるから、

$$a^2 - 2a - 1 = 0 \text{ が成り立つ。}$$

したがって、 a は $a^2 = 2a + 1$ を満たす。

また、【解き方】の計算から、 $a^3 = 5a + 2$ と表されることに着目すると

$$\begin{aligned} a^5 &= a^3 \times a^2 \\ &= (5a + 2)(2a + 1) \\ &= 10a^2 + 9a + 2 \\ &= 10(2a + 1) + 9a + 2 \\ &= 29a + 12 \end{aligned}$$

したがって、 a^5 も a の 1 次式で表すことができる。

〔問 4 の別解〕

$$\begin{aligned} a^4 &= a^3 \times a \\ &= (5a + 2) \times a \\ &= 5a^2 + 2a \\ &= 5(2a + 1) + 2a \\ &= 12a + 5 \\ a^5 &= a^4 \times a \\ &= (12a + 5) \times a \\ &= 12a^2 + 5a \\ &= 12(2a + 1) + 5a \\ &= 29a + 12 \end{aligned}$$

ポイント

2 次方程式 $ax^2 + 2bx + c = 0$ の解は

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - ac}}{a}$$

ねらい

与えられた考え方を理解し、他の場合にも活用できるかどうかを問うた。

ポイント

a^3 を a の 1 次式で表したものをを用いることで、効率よく計算ができる。 a^2 が現れたら $2a + 1$ に置き換えて計算をする。

	<p>問5 $x^2-2x-1=0$ の小さい方の解を b とおくと、問1の解答の計算から</p> $b=1-\sqrt{2}$ <p>b は $b^2-2b-1=0$ を満たすから、問4と同様にして</p> $b^3=29b+12$ <p>と、b^3 を b の1次式で表すことができる。</p> <p>よって、$b=1-\sqrt{2}$ のとき、b^3 の値は</p> $\begin{aligned} b^3 &= 29b+12 \\ &= 29(1-\sqrt{2})+12 \\ &= 41-29\sqrt{2} \end{aligned}$	<p>ポイント</p> <p>b も $x^2-2x-1=0$ の解であるから、a と同じ関係式を満たすことに着目する。</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>”</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p> <p>〔課題学習〕</p> <p>(1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。</p>	

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	言語文化																										
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情及び展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。																										
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○	問四		○	問五		○								
	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																								
	問一		○																								
	問二		○																								
	問三		○																								
	問四		○																								
問五		○																									
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○				
	小問番号	選択式	短答式	記述式																							
	問一	○																									
	問二	○																									
	問三	○																									
	問四	○																									
問五	○																										

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 **5** 次の文章を読んで、後の各問い(問一～五)に答えよ。

百喻經(注1)に云はく、「昔、愚かなる俗(注2)あつて、人の婿(注3)になりて行きぬ。さまざまにもてなされけれども、なまこさしくよし(注3)ばみて、いと物も食はで飢(注4)ゑて覺(注4)えけるままに、妻(注4)があからさまに出でたる隙に、米をひと頬(注4)うちくくみて食はむとする所に、妻帰(注4)りたりければ、恥(注4)かしさに面(注4)うち赤めてゐたり。「頬の腫れ給ふと見え給ふをばいかにや」と問(注4)へば音(注4)もせず、いよいよ顔赤みければ、腫れ物の大事にて、ものも云はぬにやと驚(注4)き、父母にかくと云(注4)へば、父母来(注4)たりて、「いかにいかに」と云ふ。いよいよ色赤くなるを見て、隣りの者の集まりて、「婿殿の腫れ物の大事におはすなる、あさまし」とて訪(注4)ふ。さるほどに、「醫師呼(注4)べ」とて、藪(注4)醫師の近々にありけるを呼びて見すれば、「ゆゆしき御大事のものなり。とくとく療治し参らせん」とて、大(注4)きなる火針(注4)を赤く

焼きて、頬を通したれば、米ぼろぼろとこぼれてけり。頬は破られ恥がましかりけり。

よくよく発露懺悔(注5)の心をおこして、冥途(注6)の恥を逃るるはかりごとをすべきものをや。

〔沙石集〕による

- (注) 1 百喻經——約百編から成る、比喻譚を収録した仏典。
2 俗——俗人。
3 よしはみて——気取つて。
4 うちくくみて——口中いっぱいに含んで。
5 発露懺悔の心——犯した罪を告白して許しを請う心。
6 冥途——あの世。

問一 二重傍線部ア・イの主語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 38。

- ① ア 婿 イ 妻
- ② ア 妻 イ 妻
- ③ ア 妻 イ 父母
- ④ ア 父母 イ 婿

問二 傍線部A「さまざまにもてなされけれども、なまごさしくよしばみて」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 39。

- ① 婿は妻の父母に対して誠意を尽くしたが、父母は婿に対して冷たく、十分な食事を与えることもしなかった。
- ② 妻は様々な方法で婿をもてなしたが、婿は愚かにも妻の愛情を疑い、出された食事にも手を付けなかった。
- ③ 婿は妻やその父母に精一杯仕えたが、恥をかかぬように、実際の自分よりもよく見せようと無理をしていた。
- ④ 妻の家では婿を大切にして色々世話を焼いたが、婿は小生意気に気取っていて、その心遣いに応えなかった。

問三 傍線部B「恥かしさに面うち赤めてゐたり」とあるが、婿

がこのようになった理由の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 40。

- ① 妻が出かけている間に自分の顔にできてしまった醜い腫れ物を見られてしまって、恥ずかしかったから。
- ② 本心から妻の家族に尽くしていたのではなかったというところが恥ずかしく、取り繕うのに必死だったから。
- ③ 妻の外出のすきを突いて腹を満たそうとした卑しさが明らかになってしまったと思い、体裁が悪かったから。
- ④ 実は飢えていたということが露見してしまい、小食なふりをしていたことがばれて窮地に陥ったから。

問四 傍線部C「大きな火針を赤く焼きて、頬を通したれば」

とあるが、医者なぜそのようなことをしたのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 41。

- ① 婿の頬が膨らんでいるのをたちの悪い腫れ物であると勘違いしたため、それを突いて治療しようと思ったから。
- ② 婿の周りに近所の者まで集まる騒ぎになっているので、何らかの対処をせずにはいられなくなってしまったから。
- ③ 婿が頬にひどい腫れ物ができたふりをしたため、口の中に米を隠していることに気付くことができなかったから。
- ④ 婿が自分を大変な重症であるように見せかけて、妻や周囲をだまそうとしているのを阻止しようと考えたから。

問五 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 42。

- ① 妻は、ほんの少し外出していた間に婿が米をほおぼっているのを見て、婿の奇行に驚いて父母を呼んだ。
- ② 婿を心配する妻や父母をよそに、近所の者や医者は婿の頬を見て心配するどころか面白がっていた。
- ③ 婿は口中に米をほおぼっていたので、頬を針で突かれるとそこから米がこぼれ出てしまった。
- ④ 婿の頬の腫れ物は病気ではなかったのに、慌てて見当違いな治療をした医者は恥をかいた。

解答例

問一 2
問二 4
問三 3
問四 1
問五 3

<p>(参考)学習指導要領の関連項目</p>	<p>言語文化 〔知識及び技能〕</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>B 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。</p>
------------------------	---

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	現代の国語																		
出題のポイント	複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。																		
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
問一		○																	
問二		○																	
問三		○																	
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二			○	問三			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																
問一	○																		
問二			○																
問三			○																

国語

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科を解答してはいけません。

1 大海高等学校の生徒会では、学校生活の向上につなげていくために、生徒の要望を聞き意見箱を設置している。次の「会話文」は、意見箱を開けた生徒会メンバーの会話である。後に示す【資料①】～【資料④】を踏まえて、後の各問いに答えよ。

【会話文】

秋山 遅れてごめんなさい。意見箱の投書、何通あった？

井口 全部で八二通でした。「通学」というテーマを設定していたので、投書しやすかったんだと思います。

秋山 内容の内訳は？

井口 【資料①】です。駅から学校までの通学方法にはバスと徒歩とがありますが、それぞれの悩みがあるようです。最も多かったバスの件から検討しましょう。

宇野 僕は徒歩では間に合わず遅刻しそうなきにたまにバスに乗りますが、たしかにいつも混んでいます。

江原 そうなの？ 私はいつも徒歩だからわからないけど、乗り切れないほど混んでいるの？

宇野 さすがに乘れないと遅刻になるので、何とかぎゅうぎゅうになって乗っている感じですね。一台に最大六十人くらいでしようか。

大石 私はいつもバスだけど、早めの時間に来るバスは空いてい

るよ。

秋山 実際、どれくらいの生徒がバスに乗っているのだろう。何かデータはある？

井口 以前に学校生活アンケートで調べましたよ。ありました、【資料②】です。

全員 (資料を回覧する)

江原 始業時間に間に合う時間帯の午前7時～午前8時までの間にバスは合計五本来るから、大石さんのような人だけなら、ぜんぜん混雑しないことになるね。

大石 バスを混雑させているのは、宇野さん①のような人でしょう。宇野 たしかに、そうかもしれません。

井口 「いつも混んでいる」というのはその人の勝手な思い込みで、実際にはすべてのバスが混んでいるわけではないようです。だとすると増便のお願いをするのは難しいと思います。

秋山 この件については、次の生徒会報に、バスの利用状況の説明と、「時間に余裕をもって登校しましょう」というメッセージを載せることにします。次に通学路の件はどうか？

江原 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望もあるけど、通学路とされている幹線道路ルートを使うと五分くらい余計にかかるから、近道になる住宅街ルートを通る人たちの気持ちもわかります。

大石 でも、ちゃんと「校則」(【資料③】)に書いてあるのだから、守らないと。

宇野 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望を解決するためには、そもそも現在の通学路に不満をもって近道になる住宅街ルートを通る生徒もいるという実態を踏まえる」と「登下校の通学路を変える」ということが根本的な解決になると思います。生徒の実態に沿った通学路に設定することで、通学路を守らない生徒もいなくなるのではないのでしょうか。江原 「通学路を変える」となると、通学路に関する校則を改正する必要があるのではないのでしょうか。そうすると、生徒集会を開いて投票することになりますね。

井口 いや、通学路を変更するために、校則を変える必要はないと思いますよ。

秋山 私も、校則を変えなくても通学路を変えられると思う。

江原 そういえば、私には十歳上の兄がいて、この高校の卒業生ですが、当時は住宅街ルートを通っちゃいけないなんて決まりはなかったって言っていましたよ。

宇野 十年以内のことなら、「大海高校新聞」のバックナンバーが電子化されているから、このパソコンですぐに調べられますよ。

秋山 そうなの？ じゃあ「通学路」で検索してみて。

宇野 あ、たぶんこれ【資料④】ですね。七年前の記事です。

大石 ほんとだ。この記事を読むと「通学時間が五分短くなる」だけでは通学路の見直しを求める正当な理由にならないのでは？ それに通学路を守らないひとたちのために通学路を変更するというのもおかしい話だと思えます。

江原 そうだね。じゃあ通学路も現状通りがよいかと思います。通学路を守らない生徒への注意喚起を行っていくことにしましょう。次は工事の件ですね。

秋山 私も工事は気になってはいたけど、あそこには何ができるの？

大石 大型商業施設。半年後に開業だそうです。

宇野 開業するのが楽しみです。

江原 でも、半年間はけっこう不便ですね。工事車両の出入りはちやうど登校時間と重なっており、この投書の人たちみたい

に危ないと感じている人も多いと思います。

大石 だからって、さすがに工事の時間を変えてくださいとは言えないでしょう。

宇野 それなら工事期間中だけは、通学路を変えたほうがいいのではないのでしょうか？これは正当な理由になると思います。

江原 そうですね、それで先生たちに提案してみませんか。

秋山 まあ、それなら説得力はありそうですね。ただ、提案は生徒の要望を代表してするものだから、どのくらいの人が賛成してくれるか、投票でなくてもいいから調べる必要があるね。

井口 では、来週のホームルームでアンケートを行って、生徒の賛否を調べます。通学路の見直しに賛成する生徒が多ければ、

具体的に先生方への提案書をまとめることにしましょう。

秋山 もし提案することになった場合に向けて、生徒会も生徒に對して取り組めることがないかを【資料④】の内容に基づいて話し合っておきましょう。

(意見箱 集計結果)

今月のテーマ「通学」に寄せられた意見
(同様の内容のものは同じ内容として扱い、まとめて集計してあります)

投書の内容	投書数
駅から学校までのバスがいつも混んでいてつらい。バスの便を増やしてほしい。	27
学校から指定された通学路が遠回りでご不便。近道(住宅街を通り抜けるルート)も認めてほしい。	23
通学路のそばで工事が始まったが、工事用車両の出入り口などで危険や不便を感じている。対策を考えてほしい。	17
通学路がわかりにくい。入学時にプリントを配布するだけでは忘れてしまう。ポスターや看板で掲示してほしい。	5
通学路を守らない人がたまにいるが、注意する人がいない。通学路を守るよう指導を徹底してほしい。	3
その他(「通学」以外に対する意見)	7

(大海高校 学校生活アンケートより)

質問：駅から学校までの通学手段は何ですか？(全校生徒を対象)

	1年生	2年生	3年生	合計
a いつも徒歩	110	98	92	300
b 徒歩が多いが、たまにバス	20	24	22	66
c 徒歩・バス同じ程度使う	15	18	16	49
d バスが多いが、たまに徒歩	15	14	22	51
e いつもバス	20	26	28	74
合計	180	180	180	540

質問：バスを利用する理由は何ですか？(b～eを選んだ生徒を対象)

[自由回答。()内の数字は同様の内容を回答した生徒の人数]

徒歩だと間に合わない(56) ・ 通学路が不便(24)
 天気の悪い日だけバスを利用(32) ・ 友達もバス通学(15)
 病気、けが(13) ・ その他(7)

【資料③】

校則より

〔登下校について〕

- ・生徒は登校時刻・下校時刻を厳守すること。
- ・駅から本校までの自転車通学は認めない。ただし、自宅から最寄り駅までの自転車利用は差し支えない。自動車・オートバイなどの利用はいずれも禁止する。
- ・登下校の際は制服をきちんと着用し、地域の方の迷惑にならないようにするなど、本校生徒としての品位を保つよう心がけること。
- ・登下校の際は指定された通学路を利用し、正当な理由なく通学路から外れないこと。
- ・登下校の途中、喫茶店・飲食店・ゲームセンター等に立ち寄りてはいけない。

〔改正について〕

- ・生徒集会で全校生徒の三分の二の賛成を得、かつ職員会議の承認が得られた場合は、本校則を改正することができる。

【資料④】

通学路改定

住宅街ルートは通行禁止

二月末に行われた職員会議で通学路の改定が話し合われ、住宅街を通り抜けるルートへの利用は今後禁止し、幹線道路沿いのルートのみを認めることが決定された。変更は四月の新学期から適用される。

住宅街ルートでは生徒の通学マナーの悪さ（大声で騒ぐ、広がって歩道を塞ぐ・ゴミをポイ捨てする）などが以前から問題視されており、住民の苦情が無視できないレベルに達したためという。

幹線道路ルートは住宅街ルートに比べ五〇％ほど遠回りになるため、生徒には不満の声が広がっている。

【川内先生（生徒指導部長）のコメント】

「学校には地域の信頼が不可欠なので、理解してほしい。今後、住宅街を通る生徒は校則違反として指導する。幹線道路ルートは交通量が多く、信号無視などは極めて危険なので、交通ルール順守も同時に求めていく。」

（相川）

解答例	<p>問一 4</p> <p>問二 (例) 具体的な通学路は校則に書いていないから。(20字)</p> <p>問三 (例) 安全のため、工事の終了までの間、住宅街を通る道を通学路として認めてほしい。生徒会でも生徒に通学マナーの向上を呼びかける。(60字)</p>
(参考) 学習指導要領の関連項目	<p>現代の国語</p> <p>〔思考力, 判断力, 表現力等〕</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 読み手の理解が得られるよう, 論理の展開, 情報の分量や重要度などを考えて, 文章の構成や展開を工夫すること。</p> <p>ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう, 根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに, 文章の種類や, 文体, 語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握すること。</p> <p>イ 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めること。</p>

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>(2) 数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>(3) 数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
---------------------------------------	---

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																											
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。																											
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th colspan="2">思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問2</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問4</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問5</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></tbody></table>				番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		問1		○		問2		○		問3		○		問4		○		問5		○	
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																										
問1		○																										
問2		○																										
問3		○																										
問4		○																										
問5		○																										
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問2</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問3</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問4</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問5</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>				番号	選択式	短答式	記述式	問1		○		問2		○		問3		○		問4			○	問5		○	
番号	選択式	短答式	記述式																									
問1		○																										
問2		○																										
問3		○																										
問4			○																									
問5		○																										
サンプル問題	<p>ある日、太郎さん、花子さんのクラスでは、次のような宿題が出された。</p> <p>【宿題】 2次方程式 $x^2-2x-1=0$ の大きい方の解を a とするとき、a^3 の値を求めよ。</p> <p>この宿題についての2人の会話を読み、下の各問いに答えよ。</p> <p>太郎: $x^2-2x-1=0$ だから、解の公式を用いればいいね。大きい方の解だから、 $a = \boxed{\text{ア}}$ だね。</p> <p>花子: a^3 の値を求めるためには $a = \boxed{\text{ア}}$ を3乗すればいいね。$(x+y)^3$ を展開すると $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y) = (x^2+2xy+y^2)(x+y) = \boxed{\text{イ}}$ となるね。この式を利用すると、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ だね。</p> <p>太郎: これで答えは出るけれども、先生が次のような解き方を教えて下さったのを覚えているよ。</p> <p>【解き方】 a は $x^2-2x-1=0$ の解であるから、$a^2-2a-1=0$ が成り立つ。 $a^2 = 2a+1$ となるので $a^3 = a^2 \cdot a$ $= (2a+1) \cdot a$ $= 2a^2+a$ $= 2(2a+1)+a$ $= 5a+2$ よって、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$</p> <p>花子: そうか、この解き方を使えば a の次数が高くなっても計算は複雑にならないね。</p>																											

先生と同じように解けば、 $a = \boxed{\text{ア}}$ のとき、例えば a^5 は

$\boxed{\text{あ}}$

と、 a の1次式の形で表されるから、 a^5 の値も簡単に求めることができるね。

太郎：【宿題】は、 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の大きい方の解の累乗の値について考えたけど、

① 小さい方の解の累乗の値についてはどうなるのかな？

問1 $\boxed{\text{ア}}$ に当てはまる数を答えよ。

問2 $\boxed{\text{イ}}$ に当てはまる式を答えよ。

問3 $\boxed{\text{ウ}}$ に当てはまる数を答えよ。

問4 $\boxed{\text{あ}}$ に、 a^5 を a の1次式で表す過程を記述せよ。

問5 下線部①について、2次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の小さい方の解を b とおくと、 b^5 の値を求めよ。 $\boxed{\text{エ}}$

解答例

問1 2次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ について、解の公式により

$$x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 1 \cdot (-1)}}{1} = 1 \pm \sqrt{2}$$

2つの解のうち、大きい方が a であるから $a = 1 + \sqrt{2}$

問2 $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y)$

$$\begin{aligned} &= (x^2 + 2xy + y^2)(x+y) \\ &= x^3 + x^2y + 2x^2y + 2xy^2 + xy^2 + y^3 \\ &= x^3 + 3x^2y + 3xy^2 + y^3 \end{aligned}$$

問3 $a = 1 + \sqrt{2}$ のとき、 a^3 の値は、問2の式で、 $x = 1$ 、 $y = \sqrt{2}$ として

$$\begin{aligned} (1 + \sqrt{2})^3 &= 1^3 + 3 \times 1^2 \times \sqrt{2} + 3 \times 1 \times (\sqrt{2})^2 + (\sqrt{2})^3 \\ &= 1 + 3\sqrt{2} + 6 + 2\sqrt{2} \\ &= 7 + 5\sqrt{2} \end{aligned}$$

問4 a は2次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の解であるから、 $a^2 - 2a - 1 = 0$ が成り立つ。

したがって、 a は $a^2 = 2a + 1$ を満たす。

また、【解き方】の計算から、 $a^3 = 5a + 2$ と表されることに着目すると

$$\begin{aligned} a^5 &= a^3 \times a^2 \\ &= (5a + 2)(2a + 1) \\ &= 10a^2 + 9a + 2 \\ &= 10(2a + 1) + 9a + 2 \\ &= 29a + 12 \end{aligned}$$

したがって、 a^5 も a の1次式で表すことができる。

〔問4の別解〕

$$\begin{aligned} a^4 &= a^3 \times a \\ &= (5a + 2) \times a \\ &= 5a^2 + 2a \\ &= 5(2a + 1) + 2a \\ &= 12a + 5 \\ a^5 &= a^4 \times a \\ &= (12a + 5) \times a \\ &= 12a^2 + 5a \\ &= 12(2a + 1) + 5a \\ &= 29a + 12 \end{aligned}$$

ポイント

2次方程式 $ax^2 + 2bx + c = 0$ の解は

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - ac}}{a}$$

ねらい

与えられた考え方を理解し、他の場合にも活用できるかどうかを問うた。

ポイント

a^3 を a の1次式で表したものをを用いることで、効率よく計算ができる。 a^2 が現れたら $2a + 1$ に置き換えて計算をする。

	<p>問5 $x^2-2x-1=0$ の小さい方の解を b とおくと、問1の解答の計算から</p> $b=1-\sqrt{2}$ <p>b は $b^2-2b-1=0$ を満たすから、問4と同様にして</p> $b^3=29b+12$ <p>と、b^3 を b の1次式で表すことができる。</p> <p>よって、$b=1-\sqrt{2}$ のとき、b^3 の値は</p> $\begin{aligned} b^3 &= 29b+12 \\ &= 29(1-\sqrt{2})+12 \\ &= 41-29\sqrt{2} \end{aligned}$	<p>ポイント</p> <p>b も $x^2-2x-1=0$ の解であるから、a と同じ関係式を満たすことに着目する。</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>”</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。</p> <p>〔課題学習〕</p> <p>(1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。</p>	